

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 412

P l a n (計 画)	主要施策名	清流や散居を活かした景観の整備						
	施策区分	景観の保全と整備						
	施策目標	散居での暮らしに誇りを持ち、散居景観を次世代に継承するために、散居景観の保全と回復、維持管理を推進する。						
	施策名	散居景観の保全と活用						
	施策の目的	全国最大規模を有する砺波平野の散居景観の保全について、市と保全・育成及び維持管理に努めている地域が締結した「散居景観を活かした地域づくり協定」に基づき、県及び市が活動支援するものであり、補助金の交付を行うもの。						
	H24最終予算額	25,443	千円	H24決算見込額	13,039	千円	H25当初予算額	6,055

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農村環境創造事業					
	予算科目	6.3.1.3					
	実施状況	散居景観保全事業補助金 4,395千円 散居景観保全事業特別補助金 8,337千円 風に強い屋敷林リーフレット等 307千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農村環境創造事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
評価の理由等	「散居景観を活かした地域づくり協定」が締結され、屋敷林の枝打ち、育成費用・散居景観の保全、創造を目的とした研修会等の活動が実施された。また、春先の暴風による倒木被害への支援として、県と足並みを合わせ特別補助金を交付するなど、屋敷林の維持保全への対応を行った。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	昨年、散居景観保全事業補助金の上限額引き上げや次期支援期間の短縮などの支援が拡充されたが、依然暴風による屋敷林の倒木被害が起きることから、屋敷林維持管理リーフレットの活用とともに、屋敷林を維持保全する意識が欠如しないように努める。また、市内協定締結対象地区全てが協定締結できるよう、事業説明会の開催等を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	散居景観の保全に関する各種施策を継続して展開し、屋敷林の維持保全に努める。
	中長期的 (3~5年)	散居景観の保全に関する各種施策を継続して展開し、屋敷林の維持保全に努める。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	異常気象による屋敷林の倒木被害が起きた場合、実情に見合った支援策の検討が必要。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散居景観の重要な要素である屋敷林を健全な形で保全しなければならない。 ・県と協調して実施する事業で、24年度から補助の上限や補助期間の短縮などの制度改善を行ったところであり、強風にも強い屋敷林つくっていくことは重要である。 		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 散居村ミュージアム 企画管理係 内線 771

P l a n (計 画)	主要施策名	清流や散居を活かした景観の整備						
	施策区分	景観の保全と整備						
	施策目標	砺波平野の散居景観及び田園空間を広く紹介するとともに、景観の保全並びに創造、農村文化・伝統文化の継承及び地域の活性化に寄与し、地域間の交流の促進を図る。						
	施策名	散居景観の保全と活用						
	施策の目的	砺波平野の散居村が持つ、豊かな自然や伝統文化などの多面的な機能を再評価し、美しい田園空間の保全、活用を行い都市と農村の共生、地域の活性化を目指すための地域住民と連携した諸政策について、計画的かつ効率的に推進を図る。						
	H24最終予算額	2,130	千円	H24決算見込額	2,129	千円	H25当初予算額	2,091

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	散居村連絡協運営事業、博物館推進協負担金					
	予算科目	6.3.4.1					
	実施状況	となみ野田園空間博物館推進協議会負担金(1,500千円)、全国散居村連絡協議会負担金(500千円)、となみ野散居村フォトコンテスト実行委員会負担金(500千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	散居村連絡協運営事業、博物館推進協負担金						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
	評価の理由等	A						
評価の理由等	富山県、南砺市、砺波市で「となみ野田園空間博物館推進協議会」を構成しているものであり、田園空間博物館事業を推進する上で必要不可欠である。学習講座等：H23参加者(750人)→H24参加者(477人)※H23は記念事業参加者300人を含む、フォトコンテスト：H23応募数(265点)→H24応募数(284点)							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	砺波平野の景観保全と田園空間を広く紹介するとともにミュージアム施設の利用者増及び活性化を図るため、昨年度に引き続き「散居村と生活」をテーマに、散居村学習講座6回の実施。特別展、写真展、シンポジウム、バスツアーなどを継続して実施。

Action (改善)	来年度 (H26)	砺波平野の保全や活用などに寄与する各種団体と連携、支援を通じて事業の展開を図る。
	中長期的 (3~5年)	となみ散居村ミュージアム支援団体を育成し、NPO法人等による事業の展開を目指す。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	となみ散居村ミュージアムの設置目的等の達成を目指すうえで、各種団体・グループの応援が必要不可欠である。そのため、各団体への場所提供等を通じて活動拠点として利用してもらい、一方、支援団体になってもらい事業展開への協力を考える。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>砺波平野の景観保全と田園空間を広く紹介するためには必要不可欠であり、フォトコンテスト等の応募等も増えている。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 散居村ミュージアム 企画管理係 内線 771

P l a n (計 画)	主要施策名	清流や散居を活かした景観の整備						
	施策区分	景観の保全と整備						
	施策目標	砺波平野の散居景観及び田園空間を広く紹介するとともに、景観の保全並びに創造、農村文化・伝統文化の継承及び地域の活性化に寄与し、地域間の交流の促進を図る。						
	施策名	散居景観の保全と活用						
	施策の目的	砺波平野の散居村が持つ、豊かな自然や伝統文化などの多面的な機能を再評価し、美しい田園空間の保全、活用を行い都市と農村の共生、地域の活性化を目指すための地域住民と連携した諸政策について、計画的かつ効率的に推進を図る。						
	H24最終予算額	18,721	千円	H24決算見込額	16,314	千円	H25当初予算額	18,513

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	散居村ミュージアム管理運営事業					
	予算科目	6.3.4.2					
	実施状況	管理運営費（人件費、需要費、施設管理委託料等）					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	散居村ミュージアム管理運営事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
	評価の理由等	となみ散居村ミュージアムは、散居村の保全・活性化・情報発信する核となる施設であり、施設を維持管理運営する上で必要不可欠である。 H23入館者(38,246人)→H24入館者(37,735人) ※うちH23施設利用者(1,286人)→H24施設利用者(1,310人)						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	民具館において希望者に映像資料を上映する「散居村ライブラリー」を開設。

Action (改善)	来年度 (H26)	来館者へのサービス向上を図るため、地域特産物や関係書籍の展示・販売の充実を図る。
	中長期的 (3~5年)	となみ散居村ミュージアム支援団体を育成し、NPO法人等による指定管理者を目指す。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	NPO法人等による指定管理者を目指すうえで、各種団体・グループの応援が必要不可欠である。そのため、各団体への場所提供等を通じて活動拠点として利用してもらおう一方、支援団体になってもらい指定管理への協力を考える。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>散居村の保全・活性化・情報発信の核となる施設を維持管理運営する上で必要不可欠であり、入館者は若干減ったものの施設利用者は増えている。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持</p> <p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 散居村ミュージアム 企画管理係 内線 771

P l a n (計 画)	主要施策名	清流や散居を活かした景観の整備						
	施策区分	景観の保全と整備						
	施策目標	砺波平野の散居景観及び田園空間を広く紹介するとともに、景観の保全並びに創造、農村文化・伝統文化の継承及び地域の活性化に寄与し、地域間の交流の促進を図る。						
	施策名	散居景観の保全と活用						
	施策の目的	砺波平野の散居村が持つ、豊かな自然や伝統文化などの多面的な機能を再評価し、美しい田園空間の保全、活用を行い都市と農村の共生、地域の活性化を目指すための地域住民と連携した諸政策について、計画的かつ効率的に推進を図る。						
	H24最終予算額	6,472	千円	H24決算見込額	5,239	千円	H25当初予算額	6,655

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	空き家利活用事業					
	予算科目	6.3.4.3					
	実施状況	空き家実態調査人件費等 (2,530千円)、空き家利活用体験交流施設運営 (1,374千円)、空き家情報バンク運営 (527千円)、大学連携委託研究 (800千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	空き家利活用事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
評価の理由等	空き家の利活用は散居村の保全・活性化における最重要課題であり、空き家情報バンクや体験交流施設等は空き家対策を促進する上で必要不可欠である。空き家情報バンク：物件登録9件・利用登録15件、体験交流施設：利用回数15回・利用者数85人						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	利用希望者に対する物件案内の充実。定住促進空き家利活用補助事業及び砺波暮らし体験交流事業の推進。

Action (改善)	来年度 (H26)	売却貸付等の意向確認のため、連絡先が明らかな空き家所有者に対しアンケート調査を実施し、空き家情報バンク登録数の充実を図る。
	中長期的 (3~5年)	今後増加すると予想される空き家情報の的確な収集のため、関係者及び自治会等との円滑な連絡調整体制の確立を目指す。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	空き家情報バンクを円滑に運営していく上で、所有者のみならず地域全体が空き家利活用の重要性を認識してもらうことが必要不可欠である。そのため、継続的な啓発事業の展開を考える。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらいわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>散居村の保全・活性化のためには必要不可欠であり、空き家情報バンクでは物件・利用の登録が進み、体験交流施設においては十分な利用が図られた。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由		
前年度評価	維持	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価		
今年度評価 の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	清流や散居を活かした景観の整備						
	施策区分	景観の保全と整備						
	施策目標	自然豊かなとなみ平野を守る						
	施策名	散居景観の保全と活用						
	施策の目的	宅地開発により農地が減少する一方、生活様式の変化や維持管理の困難さなどにより屋敷林が失われつつあることから、散村景観保全に向けた取組みを進める。						
	H24最終予算額	190	千円	H24決算見込額	0	千円	H25当初予算額	0

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	文化財保存整備事業②（文化的景観保護推進事業）					
	予算科目	10.5.3.2（一部）					
	実施状況	景観まちづくり研究会活動や、庁内作業部会等で、協議や調整等に参加した。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	文化財保存整備事業②（文化的景観保護推進事業）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延滞することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	9	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	景観保護について、市の方向性が議会で承認されていないため。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 文化的景観事業については、「景観まちづくり計画」と「砺波市景観保全・活用調査報告書」との連携を明確にさせるとともに、その事業目的や必要性について再検討すること。
	前年度二次評価に対する改善策	文化的景観事業については、事業目的や必要性について再検討するとともに、関係各課等と協議、検討する。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	景観保護についての市の方向性が議会で承認されていないため、今後の動向を見極めたい。
	今年度（H25）	景観まちづくり班の景観計画策定に参画する。

Action (改善)	来年度 (H26)	景観計画策定を受け、景観保存計画の準備を進める。
	中長期的 (3~5年)	市全体の方針を確認し重要文化的景観を目指すこととなれば、景観保存計画を策定し重要文化的景観の選定申出を行うこととなる。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	景観を守るため、規制を受け入れてもらうための補助金等を交付し、理解を願う必要がある。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 景観保護について、市の方針等が明確化されれば今後、重要文化的景観を目指すこととなるが、今後の砺波市景観計画庁内検討委員会の動向を見極める。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	廃止・休止		
今年度評価 の理由	現時点において、重要文化的景観への取り組みは時期尚早であり、事業の廃止について検討すること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	現時点において、重要文化的景観への取り組みの方向性が定まっていないことから、引き続き研究を進めることとし、当面、事業としては廃止したい。
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 散村地域研究所

内線

P l a n (計 画)	主要施策名	清流や散居を活かした景観の整備						
	施策区分	景観の保全と整備						
	施策目標	庄川流域及び散村景観の保全並びに創造、農村文化・伝統文化の継承を図る。						
	施策名	散居景観の保全と活用						
	施策の目的	砺波平野とその周辺全域にわたり、自然、人文及び社会の諸事象について総合的に研究し、地域の産業、経済及び文化の発展に資する。						
	H24最終予算額	3,843	千円	H24決算見込額	3,680	千円	H25当初予算額	430

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	散村地域研究所運営事業					
	予算科目	10.5.5.3					
	実施状況	事務局長報酬(2,520千円)、所長・所員報償費等(525千円)、研究紀要(600冊,243千円)、散村地域研究所パンフレット(1,500部,55千円)、庄川上流見学会(22千円)、地域学習講座(44千円)、事務費(271千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	散村地域研究所運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	B					
	散村地域の歴史や自然・文化等に関する理解や保全に対する、市民の意識が高まるよう啓発に努めてきた。また、次代を担う小中学生のために、「砺波ふるさと再発見クラブ」を創設し、若い世代の郷土愛の育成を目指した。また、散居村の保全と活用等、市が直面している諸問題に対して、研究者の立場からの提言を行ってきた。散居村ミュージアムとの連携を図っているが、互いの理解・協力が不十分なところがある。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 となみ散居村ミュージアムと散村地域研究所事務局の協議しながら移転について検討すること。
	前年度二次評価に対する改善策	となみ散居村ミュージアム、砺波散村地域研究所運営協議会、農業振興課等と協議しながら散村地域研究所事務局の移転について検討する。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	年2回の例会は、全て、となみ散居村ミュージアムで行い、散村地域研究所の所員間との交流を図ってきた。また、例会参加者も同様である。今後とも、となみ散居村ミュージアムとの交流、連絡を深め、意思の疎通を図っていく。同時に研究者の視点をミュージアムにはご理解いただきたい。散村地域研究所の所員及び、研究員についても同様である。互いの立場を尊重しつつ、スムーズな共通意識の構築に努めたい。
	今年度(H25)	・散村地域見学会、散村地域学習講座(小・中・高)、庄川流域見学会等への参加を募り、幅広い年齢層の郷土への理解の促進を図る。 ・砺波市が抱える喫緊の課題である高齢化問題に関する調査研究を実施する。(3ヶ年計画) ・富山大学と連携して、「歴史地理学会」を砺波市で開催し、散村地域を巡検してもらい、市の学術文化の向上・発展とともに、砺波市の紹介・観光の振興に努める。

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 散村景観を核とするまちおこし事業や市政の振興、地域の活性化のためにこれまで蓄積されてきた研究の知見を生かす。そのため市の景観まちづくり班や企画調整課などと連携した取り組みを行う。 ・ 砺波市の次代を担う児童生徒や青少年の郷土への理解や愛着を深めるため、学校や青少年自然の家等との連携を強め、散村の住みよさに関する若年層への啓蒙を図る。
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地の大学や研究機関との連携しながら、散村地域にかかわる研究の質の高さの維持向上に努める。 ・ 市民のための研究機関という立場を堅持し、市民参加型の事業を中心に市民に開かれた研究業務を推進する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input checked="" type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>平成21年度から平成23年度までの3ヶ年は南砺市飛騨屋地区を取り上げて調査し、散村地域の成立過程や諸課題について分析してきた。平成24年度からはその過程で浮上してきた散村地域における高齢化に関わる諸問題と今後の展望について研究していく。今後とも研究成果を市民に還元するとともに行政施策に反映できるように努めていく必要がある。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	改善		
今年度評価 の理由	引き続き、散村地域研究所のとなみ散居村ミュージアムへの移転とについて検討すること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	砺波市行政改革推進本部会議において、散村地域研究所をとなみ散居村ミュージアムへ移行することが決まっており、今後はミュージアムと協議しながら、具体的な移転計画を進めていきたい。
---------------------	---

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課

景観まちづくり班 内線 247

P l a n (計 画)	主要施策名	清流や散居を活かした景観の整備						
	施策区分	景観の保全と整備						
	施策目標	富山県屋外広告物条例等に基づき、屋外広告物に関する適正な事務の執行に努めるとともに、簡易除却による禁止物件（電柱、街路樹、道路標識等）へのはり紙、はり札、立看板等の撤去を行い、良好な景観の形成や風致の維持などに努める。						
	施策名	散居景観の保全と活用						
	施策の目的	屋外広告物法及び富山県屋外広告物条例に基づき、良好な景観の形成や風致の維持、公衆への危害防止などに努める。						
	H24最終予算額	79	千円	H24決算見込額	63	千円	H25当初予算額	79

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	屋外広告物規制事務事業					
	予算科目	8.4.1.3					
	実施状況	富山県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の許可（新規53件、変更2件）及び更新（20件）の事務処理のほか、指導監督（4件）と簡易除却（6回、83件）を実施した。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	屋外広告物規制事務事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	富山県屋外広告物条例に関する事務は、適時適切に処理しているものの、指導監督では他自治体との温度差がある。特に、9月の屋外広告物適正化旬間以外にもチューリップフェア開催前に一斉簡易除却を行うなど、良好な景観の形成に努めている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 違法広告物の取締りについては、効率的に実施できるよう改善されたい。
	前年度二次評価に対する改善策	違法広告物の取締りについては、簡易除却を県内では先導的に実施しているものの、随時、実施していないことから、今後、実施回数を増やすなど、適時適切な対応に努めていく。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	違反屋外広告物に対する簡易除却は、平成23年度の4回に対し、平成24年度は6回実施した。
	今年度（H25）	富山県屋外広告物条例の認知度が薄いことから、県の協力を得て、関係者への周知に努める。また、違反屋外広告物に対する簡易除却は、関係団体の協力のもと、チューリップフェア前の一斉除却を実施するほか、定期的なパトロールにより随時実施する。

Action (改善)	来年度 (H26)	富山県屋外広告条例の認知度が薄いことから、県の協力を得て、関係者への周知に努める。また、違反屋外広告物に対する簡易除却は、関係団体の協力のもと、チューリップフェア前に一斉除却を実施するほか、定期的なパトロールにより随時実施する。
	中長期的 (3~5年)	富山県屋外広告条例の認知度が薄いことから、県の協力を得て、関係者への周知に努める。また、違反屋外広告物に対する簡易除却は、関係団体の協力のもと、チューリップフェア前に一斉除却を実施するほか、定期的なパトロールにより随時実施する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	富山県屋外広告条例における許可等は、市町村が処理する事務となっていることから、指導などの取組状況に温度差がある。このことに関しては、県下統一した指導が行えるよう、引き続き、県に求めていく必要がある。

■所属長評価

施策としての総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 市独自の景観まちづくり計画の施行後、景観形成の動向により、屋外広告物の規制について検討を要する。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価の理由	引き続き、違法広告物の指導監督及び取り締まりに努められたい。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 景観まちづくり班 内線 247

P l a n (計 画)	主要施策名	清流や散居を活かした景観の整備						
	施策区分	景観の保全と整備						
	施策目標	散居景観をはじめとする本市の良好な景観の保全、創出を図るため、各種施策を包括する砺波市景観まちづくり計画を策定し、庄川と散居に広がる魅力あふれるまちを市民、事業者、行政等が協働で景観まちづくりの基準などによる景観形成に努める。						
	施策名	散居景観の保全と活用						
	施策の目的	魅力ある景観の保全、創出を図るため、景観法に基づく計画において景観まちづくりの基準等を定め、市民、事業者、行政等とともに、協働による景観まちづくりを行う。						
	H24最終予算額	2,778	千円	H24決算見込額	882	千円	H25当初予算額	7,034

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	景観計画策定事業費	
	予算科目	8.4.4.1	
	実施状況	景観まちづくり計画案は、概ねできたものの、市民の理解が得られていないなどの意見があることから、「散居村の保全と活用シンポジウム」を開催し、市民意識の向上に取り組むとともに、経済団体や住民団体への説明会を実施し、意見を聴取した。 1 散居村の保全と活用シンポジウム：3回開催 2 各種団体への説明会：10回	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	景観計画策定事業費			
	必要性・妥当性	2	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	9	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	B 景観まちづくり計画に対して一部反対する意見があり、その課題と解決に向けて計画を見直す必要があるため、必要性・妥当性、優先性、効率性の点数を2点とした。経済性に関しては、市民と行政の協働によるシンポジウムなど、経費を抑えて実施した。			

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 景観まちづくり計画については、市民の理解が得られるよう、広報やPR方法について検討すること。
	前年度二次評価に対する改善策	景観まちづくり計画については、これまで広報などの紙面によりPRに努めてきたが、あまり認識されていないように思われることから、出前講座など対話方式による説明で積極的に開催いただくようPRに努めている。 また、関係業界の一部が計画に難色を示していることから、関係団体等との協議を進めながら具体的な修正意見の提出を求めている。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	市民と行政が協働による「散居村の保全と活用シンポジウム」を実施したほか、広報等において広くPRに努めた。その結果、市民への理解度が深まってきていると認識している。 一方、一部の経済団体においては、開発抑制を懸念する意見があることから、具体的に景観まちづくりの基準の緩和が必要である。
	今年度(H25)	景観まちづくり計画に関する景観まちづくりの基準や届出対象行為については、一部の経済団体等の具体的な協議調整を行ったうえで案を見直し、年度内に景観まちづくり計画策定及び条例制定に努める。 また、砺波市における暮らしをテーマとしたPR映像の制作に取り組む。

Action (改善)	来年度 (H26)	景観まちづくり計画の全面施行に合わせ、事務処理の適正な執行と更なる景観形成を図るため、市民の意識啓発に努める。
	中長期的 (3~5年)	より一層の良好な景観形成を推進するためには、散居景観のモデル地域を指定して保全と創出に努めるほか、景観に対する意識の高まりにより、景観まちづくりの基準や様々な規制の強化が求められる。このため、景観形成に関する評価や検証をするシステムの構築が必要となる。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	良好な景観づくりのための基準強化を行う場合は、市民の評価とともに、関係団体のコンセンサスは必要となる。特に、各種の基準強化は、経済活動を阻害するとの意見が根強い場合、良好な景観を形成することにより市民がメリットを享受できることなどの理解を得て推進する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 各種団体に説明し、景観まちづくり計画の策定や条例制定に関して市民の理解を得ることが必要である。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	改善		
今年度評価 の理由	昨年に引き続き、景観まちづくり計画については、市民の理解が得られるよう、広報やPR方法について検討すること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	景観まちづくり計画は、計画内容を見直した上で広報紙を主体に、改めて市民へ周知していくこととしている。 また、散居村に対する市民意識の向上は、景観保全の取り組みによるものだけではなく、暮らしやコミュニティ、生涯学習を通して浸透を図ることが最も効果的であると思われるため、関係部署との連携して散居村学習を進めることとしている。
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

P l a n (計 画)	主要施策名	清流や散居を活かした景観の整備						
	施策区分	景観の保全と整備						
	施策目標	庄川の清らかな流れが作り出す四季折々の美しい渓谷美の景観を保全していくとともに庄川合口ダム下流域の河川環境整備に取り組むもの。						
	施策名	庄川の親水空間の整備						
	施策の目的	魅力ある庄川河川空間の整備により、既存施設と一体となった利活用を創造し、観光・地域の活性化を図るもの。						
	H24最終予算額	123,498	千円	H24決算見込額	58,782	千円	H25当初予算額	3,962

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	庄川水辺プラザ整備事業（かわまちづくり事業）					
	予算科目	8.3.1.3					
	実施状況	かわまちづくり計画に基づき、ピクニック広場、水辺広場等の整備を実施する。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	庄川水辺プラザ整備事業（かわまちづくり事業）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	庄川河川空間整備として、パークゴルフ場等の早期整備が関係団体から強く望まれており、かわまち推進協議会や関係機関と連携し、事業を進めた。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> かわまちづくり事業の完了予定。 運営維持管理について関係団体と調整を図り、管理方法を定める。

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> パークゴルフのコース設定工事の施工。 運営維持管理について、指定管理等の諸準備を進める。
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> H27パークゴルフ場オープン
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な維持管理。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助事業完了年度である。 補助交付決定済み。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業	
前年度評価	維持	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価		
今年度評価の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 林政係 内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	清流や散居を活かした景観の整備						
	施策区分	花と緑の推進						
	施策目標	市民と行政の協議による「花と緑のまちづくり」を实践し、自然と人とが共生した住み良く快適な「はなのまち となみ」の実現						
	施策名	花と緑のまちづくりの推進						
	施策の目的	砺波市緑花推進市民会議を介した市民総参加の緑花の推進や「花と緑のまちづくり条例」に基づく緑花を推進し、緑花意識の高揚と後継者育成を図る。						
	H24最終予算額	38,939	千円	H24決算見込額	37,236	千円	H25当初予算額	34,115

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	緑花促進事業					
	予算科目	6.2.4.1					
	実施状況	生け垣設置補助(14件798千円)・花と緑の銀行補助(2,192千円) 地域の花づくり推進事業補助(1,760千円)・砺波嵐山桜保存会補助(900千円) 記念樹交付(514千円)・花苗等の配布(1,888千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	緑花促進事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
	評価の理由等	市民に緑花活動についての理解・協力が得られ、個人や団体での花と緑のまちづくりが順調に推進されている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	「記念樹の交付」について、昨年度、記念樹の交付率向上のため、市のホームページの掲載内容を充実させたり、マンション・アパートにお住まいの方々への対応として鉢植え苗木を追加したが、樹種等の見直しを含め検討し交付率向上に努める。

Action (改善)	来年度 (H26)	緑花の普及と推進に努める。
	中長期的 (3~5年)	生け垣設置補助金制度（特に金額）の見直しをする。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	生垣設置補助金制度について、他市町村の現状を把握し、要綱等の見直しをする。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・「花のまち となみ」を推進していく重要な事業である。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 環境保全係 内線 141

P l a n (計 画)	主要施策名	環境にやさしい循環型社会の形成						
	施策区分	自然との共生						
	施策目標	地球温暖化防止対策として、住宅用太陽光発電等を普及啓発し、省エネルギーを推進する。						
	施策名	自然と共生するまちづくりの推進						
	施策の目的	再生可能エネルギー（クリーンエネルギー）の活用や省エネルギーなどの地球温暖化防止対策を推進する。						
	H24最終予算額	6,021	千円	H24決算見込額	5,288	千円	H25当初予算額	14,000

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	クリーンエネルギー事業費					
	予算科目	4.2.4.2					
	実施状況	住宅用太陽光発電システム設置事業補助実績 74件3,700千円 エコライフ・花と緑いっぱい（緑のカーテン設置）事業補助実績 151件1,571千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	クリーンエネルギー事業費					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	エコライフ・花と緑いっぱい事業を多くの市民に取り組んでいただき、地球温暖化防止に資するとともに、エコライフへの関心を高め、普及啓発を行った。住宅用太陽光発電システム補助については、年々国の補助金額が下がってきていることから、今後、県の動向も見据え検討が必要。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	住宅用太陽光発電システム設置事業補助及びエコライフ・花と緑いっぱい事業に加え、県内7市町合同で、LED街路灯等導入促進事業に取組み、持続可能な社会への取組みを進める。

Action (改善)	来年度 (H26)	エコライフ・花と緑いっぱい事業での補助は終了するが、グリーンカーテンのコンテスト等により事業を市民主体で進めてもらう。引き続き、住宅用太陽光発電システム補助を実施し、クリーンエネルギー事業を進める。
	中長期的 (3~5年)	再生可能エネルギー（クリーンエネルギー）活用の普及啓発を行うとともに、省エネルギーを推進する。 国の住宅用太陽光発電システム設置補助金額は、全量買取制度の関係もあり、減額の方向にあることから、現在は県と同額の補助をしているが、将来的には減額、廃止を検討していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	原子力を含め、国のエネルギー計画が明確になっていないため、どの程度まで再生可能エネルギーを普及させるのかが明確となっていない。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>エコライフ花と緑いっぱい事業補助（H23～）については、一定の役割を終えるものと考え、H26年度には、コンクール等の顕彰による啓発を考慮したい。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度から新たに実施した事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	維持
今年度評価の理由	エコライフ・花と緑いっぱい（緑のカーテン設置）事業について、当初の計画どおり平成25年度も事業を継続する。当該事業については、期限を設けるなど実施方法について検討するとともに、クリーンエネルギー事業については、新たな事業展開についても検討を進められたい。

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 環境保全係 内線 141

P l a n (計 画)	主要施策名	環境にやさしい循環型社会の形成						
	施策区分	循環型社会の構築						
	施策目標	ごみの減量化・資源化を推進し、資源の有効利用を図る。						
	施策名	ごみの減量化・資源化の推進						
	施策の目的	年々増加するごみを減量化するとともに、資源化を推進する。						
	H24最終予算額	356,144	千円	H24決算見込額		千円	H25当初予算額	341,354

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	じんかい処理事業					
	予算科目	4.2.2.1					
	実施状況	ごみ収集処理委託料(64,733千円)、クリーンセンター運営費分担金(159,040千円)、同償還費分担金(86,907千円)、有価物回収報奨金(2,348千円)、地区環境美化対策委員会補助金(2,282千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	じんかい処理事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	平成22年度より、小型家電類、天ぷら油を資源化し、ごみの減量化・資源化を行った。また、平成23年度より江ざらえ土砂を資源化した。小型家電類の分別の徹底を図る必要があることから、受入れ基準を分かりやすく緩和した。しかしながら、ごみの量は増加傾向にある。					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	ごみの減量化を推進し、分別の徹底による資源化を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	ごみの減量化を推進し、分別の徹底による資源化を図る。
	中長期的 (3~5年)	クリーンセンターとなみの将来構想に合わせてごみ収集計画の見直しを図る。 有価物の回収奨励金は、実効性を高め循環型社会の形成を図る。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	砺波広域圏内のごみ処理施設の整備計画をクリーンセンターとなみの耐用年数を考慮して、南砺市及び砺波広域圏事務組合と協議を進める。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>江ざらえ土砂の資源化により、最終処分場の延命を図った。世帯数の増加によりごみ量が増加傾向にあり、ごみの減量化及び分別の徹底による資源化を継続して推進する。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持
今年度評価	維持
今年度評価 の理由	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 環境保全係 内線 141

P l a n (計 画)	主要施策名	環境にやさしい循環型社会の形成						
	施策区分	循環型社会の構築						
	施策目標	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用できるまちづくりを図る。						
	施策名	し尿処理の充実						
	施策の目的	し尿収集業務や処理施設の適切な管理運営に努めるとともに、汚泥の資源化に努め、市民の健康で快適な生活を確保する。						
	H24最終予算額	187,432	千円	H24決算見込額	187,281	千円	H25当初予算額	157,285

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	し尿処理事業①（その他事業）					
	予算科目	4.2.3.1					
	実施状況	砺波地方衛生施設組合経常費負担金（77,016千円）、同建設費負担金（110,218千円）、庄川中間処理施設負担金（40千円）、砺波中間処理施設維持費（7千円）					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	し尿処理事業①（その他事業）						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 A			
	評価の理由等	し尿処理施設の設置、管理及び運営に関する事務を共同で行うことにより経費節減を図っている。 また、機械の更新時には、人件費を削減できるよう設備の見直しを行っている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	し尿収集業務や処理施設の適正な管理運営に努める。

Action (改善)	来年度 (H26)	し尿収集業務や処理施設の適正な管理運営に努める。
	中長期的 (3~5年)	砺波地方衛生施設組合の業務改善による管理運営費の減額及び下水道の普及によるし尿処理量の減少を図る。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	中継槽の汚泥（沈砂物等）の処理及び高圧洗浄に関して、高額な費用が必要であるため、旧砺波市（東般若地内）、旧庄川町（東山見地内）の2箇所のし尿中継槽を、1箇所とし経費の削減を図れるよう下水道の普及を推進する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>し尿処理施設の管理運営費の縮減を行った。下水道の普及を図りながら、継続して、し尿処理施設の管理運営費の縮減に努める。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農業振興課 農産係 内線 422

P l a n (計 画)	主要施策名	環境にやさしい循環型社会の形成						
	施策区分	森林の保全と整備						
	施策目標	持続可能な社会を確立						
	施策名	豊かな森林づくり						
	施策の目的	人間とクマやカモシカ、サル等が共生できるような自然環境を目指す						
	H24最終予算額	1,285	千円	H24決算見込額	872	千円	H25当初予算額	1,480

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	有害鳥獣等予察等事業					
	予算科目	6.1.3.7					
	実施状況	有害鳥獣捕獲業務委託料 300千円 カラス捕獲檻設置委託料 328千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	有害鳥獣等予察等事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
	評価の理由等	A						
評価の理由等	農作物への被害防止活動のほか、クマ対策は市民の生命・財産に係わる重要な業務である。カラス被害対策としてH23に引き続き捕獲檻を市内3ヶ所に設置し、89羽を捕獲した。また、協議会事業であるが梅檀山においてはイノシシ被害防止対策として地域ぐるみの取り組みで電気柵が設置され、被害防止に効果があった。							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	鳥獣被害防止特措法に基づく鳥獣被害対策実施隊を設置した。 イノシシの生息地域が拡大しており、農作物への被害防止に引き続き地域ぐるみの対策を講じていくことが必要。 協議会が事業主体となるが、本年度も電気柵を設置し、イノシシの侵入を防ぐ（梅檀山、梅檀野地区）

Action (改善)	来年度 (H26)	イノシシの生息地域が拡大しており、農作物への抜本的な被害防止対策が必要。電気柵を設置し、イノシシの侵入を防ぐ(梅檀山、梅檀野地区) 電気柵及び捕獲檻の設置を予定。
	中長期的 (3~5年)	イノシシの生息地域が拡大しており、農作物への抜本的な被害防止対策が必要。電気柵を設置し、イノシシの侵入を防ぐ(梅檀山、梅檀野、雄神地区) 電気柵及び捕獲檻の設置を予定。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	里山や森林の保全・整備も必要だが、熊の生息区域での整備計画を再検討する。(熊の生息区域に立入らない)

■所属長評価

施策としての総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する)	<input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/> 効率化 (費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、又は廃止する)	<input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>南砺市では、イノシシ被害が深刻で、180kmに及ぶ電気柵が地域ぐるみで設置され、被害を最小限に食い止めている。砺波市においても今後被害が激増することも予想されており、被害防止のためには、地域ぐるみでの取り組みが最も有効であることを、講習会を開催するなどして周知に努めていかなければならない。</p> <p>H24では梅檀山地区において8kmの電気柵が設置されたが、今後も国や農業共済のほか、市費の投入も視野に入れ取り組んでいかなければならない。</p>

■二次評価 (ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策 (所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課

林政係

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	環境にやさしい循環型社会の形成						
	施策区分	森林の保全と整備						
	施策目標	森林の多様な恵みを後世に引き継ぐため、森林の保全と整備を実施する。						
	施策名	豊かな森林づくり						
	施策の目的	森林の育成や森林の多面的機能の維持・増進を図るため、造林事業に支援する。						
	H24最終予算額	7,665	千円	H24決算見込額	5,666	千円	H25当初予算額	4,915

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	森林総合整備事業					
	予算科目	6.2.3.1					
	実施状況	市町村森林情報緊急事業 (105千円) 森林境界の確定事業 (2,250千円) 流域育成林整備事業 (1,011千円) 森林整備地域活動支援交付金 (2,584千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	森林総合整備事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	森林の育成や森林の多面的機能の維持・増進と造林が図られている。							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	森林整備地域活動支援交付金を活用しながら、市内森林所有者の「森林施業計画」から「森林経営計画」への移行を進める。

Action (改善)	来年度 (H26)	市内森林所有者の「森林経営計画」の樹立率向上に努める。
	中長期的 (3~5年)	造林事業の計画の見直し
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	住民（森林所有者）との合意形成

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・地球温暖化防止や森林事業の採算性の改善には欠くことのできない事業であり、今日国の重要な施策ともなっている。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課

林政係

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	環境にやさしい循環型社会の形成						
	施策区分	森林の保全と整備						
	施策目標	森林の多様な恵みを後世に引き継ぐため、森林の保全と整備を実施する。						
	施策名	豊かな森林づくり						
	施策の目的	森林の育成や森林の多面的機能の維持・増進を図るため、竹林の整理・病害虫の駆除や防除の対策を進める。また、市民と協働で竹林対策に取り組むなど森林の保全に努める。						
	H24最終予算額	10,565	千円	H24決算見込額	9,700	千円	H25当初予算額	11,794

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	豊かな森林づくり事業					
	予算科目	6.2.3.3					
	実施状況	里山再生整備事業(8,637千円) みどりの森再生事業(422千円) かたがき関係事業(641千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	豊かな森林づくり事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
	評価の理由等	A						
評価の理由等	里山の荒廃森林を手入れして、健全な森林の機能を回復させる必要がある。							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	これまでの実施地区・団体と連携し、整備後の状況について確認を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	整備後に、手入れが行き届いていなく、特に竹林が復元した森林について、再整備を含め対応に努める。
	中長期的 (3~5年)	砺波市森林整備計画に則り進める。(～平成30年度まで28ha)
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	住民(森林所有者)との合意形成

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/> 効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・「水とみどりの森づくり税」による事業は県民にも高い評価を得ている。また、最近クマやイノシシによる被害が頻発するようになってきているが、里山林を整備することによって、人と野生動物との棲み分けを図り人的被害防止に重要な事業である。</p>

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	<p>維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 環境保全係 内線 141

P l a n (計 画)	主要施策名	環境にやさしい循環型社会の形成						
	施策区分	生活環境の保全と整備						
	施策目標	「砺波市環境基本計画」に基づき、市内全域の環境保全を行う。						
	施策名	環境保全対策の推進						
	施策の目的	環境美化保全活動により、生活環境を保全する。						
	H24最終予算額	915	千円	H24決算見込額	695	千円	H25当初予算額	2,033

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	環境美化推進事業①					
	予算科目	4.2.1.1					
	実施状況	環境美化保全委託料（308千円）、死獣処理手数料（288千円）、瓜破清水水質検査手数料（10千円）					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	環境美化推進事業①					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
評価の理由等	環境美化保全活動により、ごみの不法投棄を防止し、生活環境の保全に努めた。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	環境美化保全活動により、ごみの不法投棄を防止し、生活環境の保全に努める。野焼きのルールの普及啓発を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	環境美化保全活動により、ごみの不法投棄を防止し、生活環境の保全に努める。 野焼きのルールを普及啓発を行う。
	中長期的 (3~5年)	環境美化保全活動により、ごみの不法投棄を防止し、生活環境の保全に努める。 野焼きのルールを普及啓発を行う。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	散居景観(屋敷林)の保全のため、剪定枝等の野焼きは、止むを得ないが、そのルールの普及啓発に努める。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 環境美化保全活動により、不法投棄防止対策を講じた。		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由		
前年度評価		維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価		
今年度評価 の理由		

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 環境保全係 内線 141

P l a n (計 画)	主要施策名	環境にやさしい循環型社会の形成						
	施策区分	生活環境の保全と整備						
	施策目標	砺波駅等の公衆便所を清潔に維持管理するとともに、狂犬病予防を行い、生活環境を保全する。						
	施策名	環境保全対策の推進						
	施策の目的	砺波駅等の公衆便所を清潔に維持管理するとともに、狂犬病予防を行う。						
	H24最終予算額	2,838	千円	H24決算見込額	2,702	千円	H25当初予算額	2,927

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	環境衛生対策事業					
	予算科目	4.2.1.3					
	実施状況	トイ清掃委託 (1,094千円)、駅公共トイ消耗品 (99千円)、公共トイ上下水道料 (720千円)、狂犬病予防費他 (574千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	環境衛生対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	多くの市民が利用する砺波駅公衆便所等を清潔に維持管理することで、市のイメージアップを図っている。また、犬の鑑札交付や狂犬病予防注射を行い環境衛生に努めている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	砺波駅公衆便所等を清潔に維持管理する。 人と犬が暮らしやすい街をつくるため、広報となみ等を利用して「正しい犬の飼い方」を普及啓発する。

Action (改善)	来年度 (H26)	砺波駅公衆便所等を清潔に維持管理する。 人と犬が暮らしやすい街をつくるため、広報となみ等を利用して「正しい犬の飼い方」を普及啓発する。
	中長期的 (3~5年)	砺波駅公衆便所等を清潔に維持管理する。 人と犬が暮らしやすい街をつくるため、広報となみ等を利用して「正しい犬の飼い方」を普及啓発する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	「正しい犬の飼い方」について広報となみ等で普及啓発し、市民のモラル向上を図る。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>多くの市民や観光客が利用する砺波駅公衆便所等を清潔に維持管理することで、市のイメージアップを図っている。また、犬の狂犬病予防を行い環境衛生に努めている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 環境保全係 内線 141

P l a n (計 画)	主要施策名	環境にやさしい循環型社会の形成						
	施策区分	生活環境の保全と整備						
	施策目標	豊かな景観を守り、河川や山林などの自然環境を保全する。						
	施策名	環境保全対策の推進						
	施策の目的	地下水位・水質・大気等への監視を行い、公害を未然に防止し、自然環境を保全する。						
	H24最終予算額	13,439	千円	H24決算見込額	9,905	千円	H25当初予算額	12,785

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	公害防止対策事業②（その他事業）					
	予算科目	4.2.4.2					
	実施状況	工場団地排水水質等測定業務（669千円）、公害防止協定監視業務（1,189千円）、地下水影響調査業務（5,964千円）、自動車騒音常時監視面的評価業務（1,344千円）					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	公害防止対策事業②（その他事業）						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 A			
	評価の理由等	産業活動等による公害を未然に防止するため、測定を継続して行うことで豊かな自然環境を保全している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	地下水水位・水質・大気・騒音等への監視を行い、公害を未然に防止する。

Action (改善)	来年度 (H26)	地下水水位・水質・大気・騒音等への監視を行い、公害を未然に防止する。
	中長期的 (3~5年)	地下水水位・水質・大気・騒音等への監視を行い、公害を未然に防止する。 地下水浸透対策を実施し、地下水位の保持に努める。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	地下水浸透対策に必要な用地の確保を計画的に実施する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 地下水水位、水質、大気等の監視を実施し、生活環境の保全を図った。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 環境保全係 内線 141

Plan (計画)	主要施策名	環境にやさしい循環型社会の形成						
	施策区分	生活環境の保全と整備						
	施策目標	斎場の適正な維持管理を行う。						
	施策名	斎場・霊苑の維持管理						
	施策の目的	斎場の適正な維持管理を行う。						
	H24最終予算額	26,583	千円	H24決算見込額	26,364	千円	H25当初予算額	37,130

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	斎場管理運営事業	
	予算科目	4.2.1.2	
	実施状況	斎場火葬業務委託料 (16,275千円)、燃料費 (4,474千円)、電気料 (1,611千円)、修繕費 (499千円)	

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	斎場管理運営事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A			年々高齢化が進んでいることもあり、火葬件数が増加しているが、市民の利用に支障とならないよう適正な維持管理を行った。受付、応対を行う受託業者の職員の対応について指摘も有り、適宜、指導を行った。

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	斎場の経過年数及び火葬数の増加による老朽化が進んでいるため、炉やその他設備の修繕及びメンテナンスを計画的に行い斎場の延命を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	市民の利用に支障とならぬよう、火葬炉の計画的な改修を実施する。
	中長期的 (3~5年)	市民の利用に支障とならぬよう、火葬炉の計画的な改修を実施する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	市民の利用に支障とならぬよう、火葬炉の計画的な改修を実施する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>市民の利用に支障とならないよう斎場の適正な管理を行った。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道路建設係 内線 234

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	道路交通網の整備						
	施策目標	砺波市内を縦横に走る北陸自動車道、東海北陸自動車道、能越自動車道の高規格幹線道路の整備促進を図るとともに、それらに連絡する国・県道における整備も促す。						
	施策名	国道・県道の整備促進						
	施策の目的	広域交通網の整備を図ることにより、広域的な経済並びに文化、観光交流の増大を図るとともに災害に強い、安全安心なまちづくりに努めるもの。						
	H24最終予算額	1,846	千円	H24決算見込額	1,547	千円	H25当初予算額	1,800

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	諸負担金					
	予算科目	8.2.1.2					
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 各種道路整備に係る同盟会及び積算システムの負担金 道路整備地元対策委員会交付金 					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	諸負担金						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	9	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			B					
	評価の理由等	各種同盟会等を通じ、要望等を実施することにより市内の国、県道の整備は着実に進捗している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> 各路線の整備が促進するよう国、県及び地元と調整する。 同盟会の負担金（会費）について、構成市とも協議し、見直しを図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	・各路線の整備が促進するよう国、県及び地元と調整する。
	中長期的 (3~5年)	・道路整備の効果を早期に発揮させるため、計画的に、短期間に、経済的に完成するよう国、県及び地元調整を図る。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	・道路整備に対する地元要望が依然強く、調整のうえ、事業の進捗を図る必要がある。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 それぞれの会計報告を確認し、引き続き、関係市とともに適正な負担金額を検討していく。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	維持		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	改善		
今年度評価 の理由	引き続き、各種同盟会等の負担金のあり方について検討のうえ、改善を図ること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	現在、それぞれの組織会計を確認し、必要に応じ改善を要望している。そうした中、平成25年度では、「能越自動車道建設促進期成同盟会負担金」は、負担割合の明確化を事務局へ求め、「富山県道路整備促進協会負担金」は、人口割及び事業費割の部分に係数を乗じた負担額の軽減とともに、道路愛護などへの助成制度の新設による負担金の有効活用策が講じられたことから、助成制度の活用事業を検討している。
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

国道対策班 内線 237

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	道路交通網の整備						
	施策目標	広域交通網の整備促進を図るため、市内国道の早期整備を推進する。						
	施策名	国道・県道の整備促進						
	施策の目的	国道359号砺波東B Pの整備促進を図り、広域交通網の整備により広域的な経済文化、並びに観光交流の増大を図るとともに、災害に強い安心安全なまちづくりを進めるもの。						
	H24最終予算額	2,177	千円	H24決算見込額	1,829	千円	H25当初予算額	517

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	用地取得事務	
	予算科目	8.2.3.4	
	実施状況	国道156号金屋自歩道事業について、金屋地内の工事を完了させ、示野交差点から残り区間の用地取得に着手した。 国道359号砺波東B P事業については、般若地区より順次用地買収協議に着手し事業進捗を図る。	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	用地取得事務			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A			広域交通網の整備として、国道156号、国道359号砺波東バイパス事業の早期整備が地元関係者並びに関係団体から強く望まれており、地元調整や関係機関協議を精力的に進めたことにより、事業推進に成果があった。

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	国道156号金屋自歩道事業については、平成25年度末で事業完了予定。 国道359号砺波東B P事業について、般若地区及び梅檀野地区の早期用地買収を図るとともに埋蔵文化財調査への準備を進める。 事業促進に努めるよう、国・県及び地元と調整を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	国道359号砺波東B P事業について、埋蔵文化財調査を進め、事業促進に努めるよう、国・県及び地元と調整を図る。
	中長期的 (3~5年)	国道359号砺波東B P事業について、工事着手を行い、残り1.6km区間の整備を完了させ早期供用開始に努める。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	国道359号砺波東B P事業に伴う芹谷排水路改修事業との調整が課題であり、詳細設計や費用負担等について、国土交通省、砺波市土地改良区と協議を進める。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 地元経済効果、災害時の輸送など早期完成に向けた事業協力が必要。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道路建設係 内線 234

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	道路交通網の整備						
	施策目標	市内の道路交通網の整備促進。						
	施策名	市道の整備促進と道路網の検討						
	施策の目的	道路交通網の整備促進を図るため国、県に要望活動を行うもの。						
	H24最終予算額	188	千円	H24決算見込額	151	千円	H25当初予算額	188

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	土木管理事務					
	予算科目	8.1.1.2					
	実施状況	要望活動を実施し、整備が必要な箇所について要望等を行った。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	土木管理事務					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	要望活動等により、事業が促進され、また、新規に事業採択されることにより必要性は十分にある。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	必要な事業について継続的に要望活動を実施する。また、あわせて新規要望も実施する。

Action (改善)	来年度 (H26)	必要な事業について継続的に要望活動を実施する。また、あわせて新規要望も実施する。
	中長期的 (3~5年)	適宜、要望内容の見直しを行い、時代の流れに即した要望活動を実施する。 各種同盟会の連携による経費の節減、効率化を図る。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	国、県との道路交通網整備の効率化。 国、県との情報交換、連携強化。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<small>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</small> 幹事会の合同開催や要望の効率化など、引き続き同盟会関係市において検討していく。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業	
前年度評価		<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価		
今年度評価 の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	道路交通網の整備						
	施策目標	道路管理者として市道を常時良好な状態に保全し、道路利用者の安全、安心を図るよう必要な維持修繕を行うもの。						
	施策名	市道の整備促進と道路網の検討						
	施策の目的	市道の道路交通の安全を図るため、修繕箇所を早期発見し、道路等の維持修繕を行うもの。						
	H24最終予算額	96,069	千円	H24決算見込額	70,613	千円	H25当初予算額	76,228

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	道路橋りょう維持修繕事業					
	予算科目	8.2.2.1					
	実施状況	計画的に舗装修繕箇所を選定し、維持修繕を実施した。 舗装補修工事を一括発注し、効率的に維持補修に対応した。 橋梁長寿命化修繕計画を策定した。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	道路橋りょう維持修繕事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	道路パトロール等により、道路修繕箇所の早期発見、早期補修がなされたもの。 また、橋梁の長寿命化計画の委託により今後の橋梁維持管理の効率化が図られる。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	舗装の傷みの著しい道路について路面性状検査を行い、計画的に舗装修繕工事を実施する。 橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画を実施する。

Action (改善)	来年度 (H26)	舗装修繕の年次計画を策定し、計画的に修繕工事を実施する。 橋梁修繕計画に基づき修繕工事を実施する。
	中長期的 (3~5年)	舗装修繕の年次計画を策定し、計画的に修繕工事を実施する。 橋梁修繕計画に基づき修繕工事を実施する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 橋をはじめ道路ストックの長寿命化が近々の課題となっており、計画的に対応していく必要がある。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	道路交通網の整備						
	施策目標	市道の環境美化を目的とした市道街路樹等の植栽管理、補植工事を行うもの。						
	施策名	市道の整備促進と道路網の検討						
	施策の目的	市道の街路樹等の維持管理を行い、市道の緑化を維持するもの。						
	H24最終予算額	6,500	千円	H24決算見込額	6,123	千円	H25当初予算額	7,000

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	道路緑化維持管理事業					
	予算科目	8.2.2.2					
	実施状況	土地区画整理事業により整備された区域について、地元で植栽管理を委託し、維持管理を行ったもの。また、街路樹のある道路の植栽の防除、計画的な剪定、散水を実施し維持管理に努めたもの。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	道路緑化維持管理事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	街路樹について、良好な維持管理が実施されたことによるもの。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	地域ぐるみでの植栽維持管理を進め、緑化維持に努めるもの。また、破損した植樹柵等を修繕し、歩行者の安全な通行を確保するもの。 剪定を落葉時期に行い効率を上げ、枝処分費の軽減を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	地域ぐるみでの植栽維持管理を進め、緑化維持に努めるもの。また、破損した植樹柵等を修繕し。歩行者の安全な通行を確保するもの。 剪定を落葉時期に行い効率を上げ、枝処分費の軽減を図る。
	中長期的 (3~5年)	街路樹の計画的な剪定により、市道の環境美化を保持していくもの。また、街路樹の成長度を調査し、計画的な植栽管理計画を策定するもの。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	地域ぐるみの管理者の高齢化が進んでいくので、世代交代を促し、緑化維持に努めるもの。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input checked="" type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 樹木剪定をより効率的に作業が出来る時期とする。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由	引き続き、街路樹の計画的な剪定を行うことで、コストの改善が図られるように努められたい。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道路建設係 内線 234

Plan (計画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	道路交通網の整備						
	施策目標	基幹道路を補完する市道の整備を促進し、安全安心な道路交通網の確立を図る。						
	施策名	市道の整備促進と道路網の検討						
	施策の目的	円滑な交通誘導を図るとともに、子供や高齢者等の交通弱者が安全で安心な地域生活空間を確保するため、歩道設置、段差解消などを計画的に進める。						
	H24最終予算額	471,928	千円	H24決算見込額	238,550	千円	H25当初予算額	377,668

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	市道改良事業	
	予算科目	8.2.3.1	
	実施状況	1 2 路線<示野上中野線、小杉狐島線、鷹栖高儀線、久泉東開発線、小杉狐島線（Ⅱ期）、十年明千保線、庄川小学校線、寺島 2 号線、駅南線、苗加鹿島線、桜づつみ線、福山栃上線>で事業を展開した。	

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	市道改良事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A			道路整備事業は、市民の安全安心を確保するため、早期に完了し、事業効果を発揮する必要がある、平成24年度に3路線を新規に調査着手し、事業化を計画するとともに、4路線について、新規に工事着手し、計12路線で事業を展開した。

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> 出町中学校周辺の文教ゾーン整備に向けた、道路網を計画する必要がある。 駅南線及び寺島2号線について、調査完了に伴い、用地・補償及び工事を展開する。

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> 市道十年明千保線道路改良事業に関連し、JR城端線第2三郎丸踏切の改修へ向け、本格的な調査(設計)を実施する。 小学校への通学路である市道鷹栖高儀線(Ⅱ期)について、事業化を検討するため、調査に着手する。 (仮)高岡砺波スマートインターチェンジの供用に間に合うよう、周辺道路網を整備する。
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画に基づき、計画的に事業を展開し、スクラップアンドビルトの方式(1路線完成し、1路線新規着手)により、事業を展開するとともに、市民の安全安心を確保するため、早期に完了し、事業効果を発揮するよう努める。 全国的な通学路での交通事故を受け、通学路対策に重点を置いた整備を図る。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの要望が依然強く、優先度(緊急性)と費用対効果を追求した長期計画を策定し、整備を進める必要がある。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 効率化(費用対効果の改善を行う) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>市民の要望をとりまとめ、総合計画に位置付けて事業実施している。</p>

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	<p>維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

Plan (計画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	道路交通網の整備						
	施策目標	道路交通における安全確保に向け、道路安全施設の整備及び補修を行うもの。						
	施策名	市道の整備促進と道路網の検討						
	施策の目的	道路交通の安全を確保するため、道路安全施設の維持管理を行うもの。						
	H24最終予算額	27,000	千円	H24決算見込額	19,744	千円	H25当初予算額	29,290

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	道路交通安全施設整備事業	
	予算科目	8.2.4.1	
	実施状況	道路照明灯、道路標識、道路反射鏡、道路区画線、防護柵の修繕・新設を実施した。	

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	道路交通安全施設整備事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A			破損した安全施設に対して、優先度を考慮し修繕を行ったもの。また、危険個所について順次防護柵を設置し、車両、歩行者の安全が確保されたもの。

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	道路ストック点検により、安全施設等の損傷をチェックし、緊急を要するものから順に修繕する。 通学路の一部をカラー舗装することにより、危険個所を減少させる。

Action (改善)	来年度 (H26)	道路区画線の必要箇所を選定し、道路区画線維持管理計画を策定する。 不必要と考えられる道路標識の撤去について検討する。
	中長期的 (3~5年)	道路区画線の設置、補修時期を集計し、今後の交通量を勘案しながら長期的な修繕計画を策定する。 道路付属施設台帳を完備し、適正な維持管理に努める。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらいわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 安全・安心なまちづくりとして重要な事業である。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

国道対策班 内線 237

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	道路交通網の整備						
	施策目標	高速交通網との連携強化のため、スマートIC及び関連道路の整備を行う。						
	施策名	市道の整備促進と道路網の検討						
	施策の目的	(仮称)高岡砺波スマートIC及びアクセス道路の早期整備を行い、広域的な経済文化、並びに観光交流の増大を図るとともに、災害に強い道路交通網の整備と安全安心なまちづくりを進めるもの。						
	H24最終予算額	52,202	千円	H24決算見込額	20,889	千円	H25当初予算額	46,460

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	新インター整備事業					
	予算科目	8.2.3.5					
	実施状況	早期工事着手を図るため、関係機関や地元関係者との協議調整を進め、用地取得を完了させ工事に着手した。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	新インター整備事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	スマートIC設置事業として、高岡市と砺波市が連携して取り組んでいるプロジェクト事業であり、高速道路利用者への利便性向上と産業経済活動の活性化を図るため、重要な事業として早期整備が求められている中で、地元関係者並びに関係機関との協議調整が順調に進められた。					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	工事のスムーズな進捗を図るためにも、地元や関係機関との調整に努め早期完成を目指す。

Action (改善)	来年度 (H26)	実施計画では平成26年度末の供用開始となっているが、一日も早い供用開始を目指している。
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	供用開始後の県道坪野小矢部線と市道桜づつみ線交差点の交通規制が課題であり、交差点改良の事業化が望まれる。(県の協力を得るため要望活動を実施する)

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/> 効率化 (費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 高岡市との連携事業であり、平成26年度内の完成を目指し、計画に沿って進める。

■二次評価 (ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策 (所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 都市計画係 内線 241

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	都市基盤の整備						
	施策目標	まちづくりを進める上で必要な都市計画決定及び変更を行うための都市計画審議会を開催する。						
	施策名	都市基盤の整備促進						
	施策の目的	都市計画法に基づく、都市計画決定及び変更に伴い審議会を開催する。						
	H24最終予算額	295	千円	H24決算見込額	115	千円	H25当初予算額	295

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	都市計画審議会運営事業					
	予算科目	8.4.1.1					
	実施状況	都市計画区域の見直し等に伴い、2月に都市計画審議会を実施した。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	都市計画審議会運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	都市計画法に基づく都市計画審議会運営事業であり、必要である。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	なし。
	今年度(H25)	景観まちづくり計画の策定に伴う審議会の開催を予定している。

Action (改善)	来年度 (H26)	都市計画の変更等があればその都度開催する。
	中長期的 (3~5年)	都市計画の変更等があればその都度開催する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>都市計画区域の見直し等に伴い、県及び市の都市計画決定のため、都市計画審議会を2月に開催し、同意及び議決を得た。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 都市計画係 内線 241

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	都市基盤の整備						
	施策目標	まちづくりを進める上で必要な都市計画事務を行う。						
	施策名	都市基盤の整備促進						
	施策の目的	都市計画事業を進める上で必要な重点要望や都市計画図の調整、各種負担金の支払い業務を行う。						
	H24最終予算額	2,332	千円	H24決算見込額	2,106	千円	H25当初予算額	9,896

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	都市計画事務費①					
	予算科目	8.4.1.4					
	実施状況	砺波都市計画区域と庄川都市計画区域の統合及び庄川町山間地域を都市計画区域に編入したことによる都市計画総括図(1/2,500、1/10,000)の修正を行った。 都市計画事業を進める上で必要な重点要望や都市計画図の調整、各種負担金の支払い業務を行った。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	都市計画事務費①					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
評価の理由等	都市計画法に基づく都市計画決定や都市計画図の調整等の事務であり必要である。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	維持
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	これまでの実施内容で引き続き実施する。
	今年度(H25)	都市計画法に定められた、各種都市計画事業の基礎資料となる都市計画基礎調査を実施する。 都市計画図(1/2,500、1/10,000)の計画的、効率的な修正を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	都市計画図(1/2, 500、1/10, 000)の計画的、効率的な修正を行う。
	中長期的 (3~5年)	都市計画図(1/2, 500、1/10, 000)の計画的、効率的な修正を行う。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	都市計画図の修正には多額の費用がかかるため、庁内関係課との情報共有、国土地理院の成果等の利用により経費の削減を検討する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 都市計画行政を推進するため、都市計画図、用途地域図等の計画的効率的な修正が必要である。		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業		
前年度評価	維持	維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 区画整理係 内線 243

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	都市基盤の整備						
	施策目標	県西部の高速交通の要衝である利点を活かし、市街地における土地区画整理事業を計画的に進め、コンパクトで利便性の高い調和のとれた住み良いまちづくりを目指す。						
	施策名	都市基盤の整備促進						
	施策の目的	公共施設を整備改善し、住宅の利用増進を図り、健全な市街地の形成に資するため、土地区画整理事業による面的整備を行う。						
	H24最終予算額	11,906	千円	H24決算見込額	11,906	千円	H25当初予算額	0

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	組合施行土地区画整理事業①（杉木土地区画整理事業）	
	予算科目	8.4.2.1	
	実施状況	H24組合事業費362,000千円 市予算額（補助金11,906千円） 施行面積54.9ha、事業期間（平成12年度～平成26年度） 総事業費7,537百万円、平成24年度までの進捗率 約95%	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	組合施行土地区画整理事業①（杉木土地区画整理事業）			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			B		
評価の理由等	公園修景工事については完了したが、平成24年度内で保留地を完売することができず、事業期間を平成26年度まで延伸した。				

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	関係機関との管理移管手続き、換地及び清算金の手続きを行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	換地処分を完了させ、組合の解散を目指す。
	中長期的 (3~5年)	なし。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	住宅用保留地（一般保留地、付け保留地）の完売に向け、売却戦略について積極的に取り組む。

■所属長評価

施策としての総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>平成24年度において予定していた公園修景工事については完了したが、平成24年度内で保留地を完売することができなかったため、事業期間を平成26年度まで延伸した。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	維持	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価の理由	引き続き、保留地の売却に努められたい。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 区画整理係 内線 243

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	都市基盤の整備						
	施策目標	県西部の高速交通の要衝である利点を活かし、市街地における土地区画整理事業を計画的に進め、コンパクトで利便性の高い調和のとれた住み良いまちづくりを目指す。						
	施策名	都市基盤の整備促進						
	施策の目的	公共施設を整備改善し、住宅の利用増進を図り、健全な市街地の形成に資するため、土地区画整理事業による面的整備を行う。						
	H24最終予算額	210,000	千円	H24決算見込額	209,500	千円	H25当初予算額	210,000

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	組合施行土地区画整理事業②（中神土地区画整理事業）					
	予算科目	8.4.2.1					
	実施状況	H24組合事業費1,320,659千円 うち補助事業費865,000千円 市予算額（負担金）180,000千円（補助金）30,000千円 施行面積32.6ha、事業期間（平成20年度～平成29年度） 総事業費4,373百万円、平成24年度までの進捗率 約50%					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	組合施行土地区画整理事業②（中神土地区画整理事業）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	平成25年度予算の前倒しとなる平成24年度補正予算を活用し、商業街区の形成に向け、事業計画どおり順調に進んでいる。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	なし。
	今年度（H25）	商業街区出店予定企業と店舗計画の調整を図りながら、周辺道路及び整地整備を完成する。

Action (改善)	来年度 (H26)	地区内全ての都市計画道路や区画道路の完成を目指す。
	中長期的 (3~5年)	平成29年度の事業完了に向け、平成27年度までには基本事業費分(国庫補助事業費分)を完了する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	商業街区の保留地売却による処分金について、公園整備や消雪施設などへの資金計画を検討する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/> 効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>国の平成24年度補正予算を活用し、順調に進捗しており、商業街区の形成に向けて、事業の促進に努めている。</p>

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	<p>維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 都市計画係 内線 241

Plan (計画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	都市基盤の整備						
	施策目標	街路事業により都市基盤を整備する。						
	施策名	都市基盤の整備促進						
	施策の目的	都市計画道路中央町鷹栖線の整備を促進する。						
	H24最終予算額	28,650	千円	H24決算見込額	17,040	千円	H25当初予算額	1,250

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	都市計画事務費②(都) 中央町鷹栖線街路事業費					
	予算科目	8.4.1.4					
	実施状況	県施行都市計画道路中央町鷹栖線街路事業費を負担(17,040千円)し、整備を促進した。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	都市計画事務費②(都) 中央町鷹栖線街路事業費					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	県施行都市計画道路中央町鷹栖線街路事業の推進により、市街地における中央町鷹栖線が全線完成となるため必要な事業である。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	なし
	今年度(H25)	県施行都市計画道路中央町鷹栖線街路事業を推進する。

Action (改善)	来年度 (H26)	平成25年度で事業完了予定。
	中長期的 (3~5年)	平成25年度で事業完了予定。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>平成25年9月末には工事が完了し、市街地における中央町鷹栖線が全線完成することから、利便性が向上する。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 区画整理係 内線 243

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	都市基盤の整備						
	施策目標	密集市街地における幹線道路や交差点及びその周辺整備について、効率的な事業手法により計画的に進める。						
	施策名	都市基盤の整備促進						
	施策の目的	都市計画区域の用途地域のうち、都市基盤施設が未整備となっている既成市街地の一団の区域の整備について、区画整理等の整備手法を検討する。						
	H24最終予算額	3,000	千円	H24決算見込額	2,730	千円	H25当初予算額	15,000

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	土地区画整理推進事業（出町東部第3地区）					
	予算科目	8.4.2.2					
	実施状況	地元町内会委員による都市計画勉強会を9回開催し、区画整理事業や街路事業などの事業手法や事業範囲の検討を行った。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	土地区画整理推進事業（出町東部第3地区）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	平成24年度は地元町内会委員による事業の方向性を検討したが、今後は地権者の意向を確認し整備手法を見極めなければならない。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	現況測量や権利調査などを行い、より具体的な区画整理事業や街路事業などの事業手法を検討する。

Action (改善)	来年度 (H26)	国・県など関係機関との協議を行い、組合準備委員会の設立を目指す。
	中長期的 (3~5年)	平成27年度に組合設立を目指す。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	地元権利者の意向を確認しながら事業手法を決定し、事業に必要な各種調査を計画的に進めていく。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>都市計画道路の未整備地区であり、整備が必要である。 また、平成24年度において地元町内会委員による勉強会を進めているが、今後、整備手法及び事業区域の範囲について検討する必要がある。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度から新たに実施した事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業	
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	維持	
今年度評価 の理由	引き続き、地元権利者の意向を確認し、事業をすすめられたい。	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 都市計画係 内線 241

Plan (計画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	都市基盤の整備						
	施策目標	市民を対象にした快適な居住環境を整備する。						
	施策名	都市基盤の整備促進						
	施策の目的	都市公園を維持管理する。						
	H24最終予算額	65,469	千円	H24決算見込額	27,050	千円	H25当初予算額	55,642

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	公園管理事業					
	予算科目	8.4.3.1		8.4.3.2			
	実施状況	街区公園等都市公園165箇所のうち、他部署管理9箇所を除く156箇所の維持管理を行った。国の大型補正により平成25年度実施予定の公園施設長寿命化計画に基づく施設の更新工事を実施することとなったが、3月補正であったことから、平成25年度に繰越した。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	公園管理事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	街区公園等都市公園の管理を適正に行うことは必要。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	維持
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	これまでの実施内容で引き続き実施する。
	今年度（H25）	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽施設等の計画的更新を行うもの。

Action (改善)	来年度 (H26)	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽施設等の計画的更新を行うもの。
	中長期的 (3~5年)	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽施設等の計画的更新を行うもの。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	公園施設長寿命化計画に基づく事業の補助採択基準は、事業費が年額3千万円以上となっており、市の財政状況を考慮し実施する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>今後とも適正に管理を行っていきたい。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	維持		<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価			
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 生活交通係 内線 143

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	公共交通の充実						
	施策目標	市民が安心して利用でき、利便性のよい公共交通機関の確保と砺波駅周辺のパークアンドライド駐車場の整備により、公共交通機関の活性化を図る。						
	施策名	公共交通の利用促進と活性化						
	施策の目的	子どもや高齢者等の交通弱者の交通手段を確保するとともに、山間部や市街地郊外と砺波駅や市街地を結び、公共交通機関の利便性の向上を図る。						
	H24最終予算額	8,018	千円	H24決算見込額	7,755	千円	H25当初予算額	126,690

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	駐車場管理運営事業①（経常的経費）					
	予算科目	2.1.14.1					
	実施状況	油田駅前自転車駐車場新設工事3,528千円、駐車場管理委託料306千円、駐車場清掃業務委託料306千円、駐車場土地賃借料2,454千円、ゲートバー等修繕304千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	駐車場管理運営事業①（経常的経費）						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	油田駅前駐輪場を増設し、収容台数不足を解消することにより利便性を向上させた。 砺波駅南の自動車駐車場は、毎年高い利用率を維持している。 砺波駅南の自動車駐車場について料金体系の検討が必要である。							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	東野尻駅前自転車駐輪場を増設し、収容台数不足を解消し、利便性の向上を図る。 砺波駅南駐車場の料金体系を見直し、同駐車場パークアンドライド機能の向上を図る。 砺波駅前広場イメージアップ検討委員会を開催するなど、砺波駅前広場の印象改善に向けた検討を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	パークアンドライド駐車場の整備について、調査・研究する。
	中長期的 (3~5年)	パークアンドライド駐車場の整備について、調査・研究する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	パークアンドライド駐車場の整備について、調査・研究する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 砺波駅南の自動車駐車場は、毎年高い利用率を維持している。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 生活交通 内線 143

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	公共交通の充実						
	施策目標	市民が安心して利用でき、利便性のよい公共交通機関の確保とノーマイカー運動等の利用推進PR活動の強化により、公共交通機関の活性化を図る。						
	施策名	公共交通の利用促進と活性化						
	施策の目的	子どもや高齢者等の交通弱者の交通手段を確保するとともに、山間部や市街地郊外と砺波駅や市街地を結び、公共交通機関の利便性の向上を図る。						
	H24最終予算額	49,150	千円	H24決算見込額	47,011	千円	H25当初予算額	48,977

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	バス運行事業①					
	予算科目	2.7.1.2					
	実施状況	市営バス運行委託費43,221千円、修繕費1,402千円、消耗品482千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	バス運行事業①					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期の一部に見直しの必要がある。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	平成24年10月の路線変更により、運行範囲を拡大し交通空白地域の解消を図ったほか、平成24年12月には高波線の冬期間用ダイヤの運用を開始、平成25年3月にはJR城端線の時刻表改正に合わせたダイヤ改正を実施し、利便性の向上を図ったことにより利用者が増加したが、旧庄川町を運行する路線など一部路線については改正の効果がみられなかった。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 バス運行事業については、引き続き、市民が使い易く、また、収益性の高いダイヤとなるよう検討すること。
	前年度二次評価に対する改善策	昨年10月のバス路線の改正は、交通空白地域及び重複路線の解消等を図ったものであったが、平成24年1月から2月にかけて各地区等に対して要望調査を実施した結果、バス停までの距離が遠く、福祉施設や病院への利用に使用せず、実質的に交通空白地域となっている箇所が見られた。 本年10月にはバス路線の改正を予定しているが、同改正により、要望調査の結果みられた交通空白地域の解消を可能な限り図ることにより、市営バスの利便性の向上及び利用者の増加を図りたい。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	平成24年10月の路線変更により、運行範囲を拡大し交通空白地域の解消を図ったほか、平成24年12月には高波線の冬期間用ダイヤの運用を開始、平成25年3月にはJR城端線の時刻表改正に合わせたダイヤ改正を実施し、利便性の向上を図ったことにより利用者が増加したが、旧庄川町を運行する路線など一部路線については改正の効果がみられなかった。
	今年度（H25）	平成26年10月のダイヤ改正に向け、関係団体への要望調査を実施するなど、利便性、利用者数の増加及び効率性を高める路線及びダイヤについて検討する。

Action (改善)	来年度 (H26)	市営バスのダイヤ改正 (10月1日) を実施し、利便性及び利用実績の向上を図る。
	中長期的 (3~5年)	市営バスの安全な運行管理に努める。 乗車人員が今後さらに減少する状況が見込まれるため、ダイヤ改正等を適宜行い、効率的運行を図る。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	路線バスは、交通手段のない人や地域のための生命線であり、ダイヤ改正や便数の減少、路線の廃止については、市民の意見を聞き十分に検討する必要がある。

■所属長評価

施策としての総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部 (廃止を含む。) に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化 (コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える)
<input checked="" type="checkbox"/>	効率化 (費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化 (事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合 (他の事業と統合する、又は廃止する)	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>平成24年10月の路線変更により、運行範囲を拡大し交通空白地域の解消を図ったほか、平成24年12月には高波線の冬期間用ダイヤの運用を開始、平成25年3月にはJR城端線の時刻表改正に合わせたダイヤ改正を実施し、利便性の向上を図ったことにより利用者が増加したが、旧庄川町を運行する路線など一部路線については改正の効果がみられなかった。</p>		

■二次評価 (ワーキンググループにて記載)

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価の理由	バスの運行は現状を維持する。なお、バス運行事業については、引き続き市民が使い易く、収益性の高いダイヤとなるよう検討されたい。		

■二次評価に対する改善策 (所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 生活交通係 内線 143

P l a n (計 画)	主要施策名	機能的な都市基盤の整備						
	施策区分	公共交通の充実						
	施策目標	市民が安心して利用でき、利便性のよい公共交通機関の確保とノーマイカー運動等の利用推進PR活動の強化により、公共交通機関の活性化を図る。						
	施策名	公共交通の利用促進と活性化						
	施策の目的	子どもや高齢者等の交通弱者の交通手段を確保するとともに、山間部や市街地郊外と砺波駅や市街地を結び、公共交通機関の利便性の向上を図る。						
	H24最終予算額	34,272	千円	H24決算見込額	32,627	千円	H25当初予算額	37,791

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	民間バス事業運行補助					
	予算科目	2.7.1.3					
	実施状況	加越能鉄道への運行補助32,627千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	民間バス事業運行補助					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	市民の交通手段を確保している。運行補助金が年々増額しており、今後は、加越能鉄道のバス路線の効率化や利便性の向上などを図る必要がある。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 運行補助については、引き続き、路線の検討や赤字補填の妥当性等を踏まえ、補助金の減額が図られるよう検討すること。
	前年度二次評価に対する改善策	北陸新幹線開業にあわせたバス路線の改正は、加越能鉄道側も検討しているところであり、当市としても、関係自治体と連携し、路線決定機関である民営乗合バス維持対策協議会において、効率化が図られる決定がなされるよう努めたい。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	加越能バス(株)に対し、北陸新幹線開業に合わせた路線改正を検討するに際し、路線の効率化を図るよう求めているところである。 今後加越能バス側から、改正案が提示される予定であるが、関係自治体と連携し、路線決定機関である民営乗合バス維持対策協議会において、効率化が図られる決定がなされるよう努めたい。
	今年度(H25)	民間バス事業運営補助のあり方について協議する。

Action (改善)	来年度 (H26)	民間バス事業運営補助のあり方について協議する。
	中長期的 (3~5年)	民間バス事業運営補助のあり方について協議する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	路線バスは、交通手段のない人や地域のための生命線であり、ダイヤ改正や便数の減少、路線の廃止については、市民の意見を聞き十分に検討する必要がある。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input checked="" type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>市民の交通手段を確保している。運行補助金が年々増額しており、今後は、加越能鉄道のバス路線の効率化を図る必要がある。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由	引き続き、市民の「足」の確保に努められたい。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 観光物産係 内線 401

P l a n (計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光資源の活用						
	施策目標	砺波市観光振興戦略プランに基づき、観光資源を活用し誘客増加を図るためコミュニティプラザを維持管理する。						
	施策名	観光地施の充実と自然公園の整備						
	施策の目的	コミュニティプラザの適切な維持管理及び整備を行い、観光客へのサービスと誘客増加を図る。						
	H24最終予算額	3,748	千円	H24決算見込額	3,397	千円	H25当初予算額	3,339

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	コミュニティ施設管理事業	
	予算科目	7.1.4.7	
	実施状況	観光案内所整備522千円、施設管理料（光熱費含む）2,875千円	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	コミュニティ施設管理事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期の延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			A		
評価の理由等	コミュニティプラザの鍵開閉業務や清掃業務等を砺波市観光協会へ委託するとともに環境整備に努め利用客の利便を図った。				

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	砺波市観光協会と連携し、更なる環境整備と利用客へのサービスを図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	砺波市観光協会と連携し、更なる環境整備と利用者へのサービスを図る。
	中長期的 (3~5年)	砺波市観光協会、農地林務課、花と緑の財団と連携し、「花の街となみ」にふさわしい環境整備を図る。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・JR砺波駅にある観光案内所やコミュニティプラザは、JR城端線の活性化とともに観光客へのサービスや市民の休憩施設として必要である。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持</p> <p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 上下水道課 下水道建設 内線 174

Plan (計画)	主要施策名	快適な居住環境の整備						
	施策区分	下水道の充実						
	施策目標	公共下水道・農村下水道等の整備によって、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図る。						
	施策名	公共下水道の計画的な整備						
	施策の目的	公共下水道計画区域（公共624.4ha・特環622.7ha）の整備推進、農村下水道処理面積（216ha）・市設置型合併処理浄化槽（158基）の維持管理及び下水道管渠の維持管理						
	H24最終予算額	27,552	千円	H24決算見込額	22,901	千円	H25当初予算額	27,557

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	合併処理浄化槽設置事業					
	予算科目	4.2.1.4					
	実施状況	公共下水道認可区域外における合併浄化槽補助(国庫補助対象) 46基（5人槽11基、7人槽31基、8～10人槽3基、11人槽以上1基）					

平成23年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	合併処理浄化槽設置事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	市民の生活活動において、下水道整備が時期的に及ばない地域に対する助成制度であり、市民全体の不公平感の解消と公共用水域の水質を保持するうえでも有効な事業である。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> ● 砺波市下水道整備基本計画、砺波市下水道中期経営計画及び砺波市総合計画に基づく事業展開 <ul style="list-style-type: none"> ① 下水道計画区域内の未実施地区（五鹿屋、中野、種田の各一部）での下水道整備及び下水道計画区域の拡大 ② 上記に下水道計画区域外での合併処理浄化槽補助

Action (改善)	来年度 (H26)	● 砺波市下水道整備基本計画、砺波市下水道中期経営計画及び砺波市総合計画に基づく事業展開 ① 下水道計画区域内の未実施地区（五鹿屋、中野、種田、北部地区の各一部）での下水道整備 ② 上記に下水道計画区域外での合併処理浄化槽補助
	中長期的 (3～5年)	● 中期経営計画に基づく下水道経営 ・ 下水道への早期接続推進と水洗化率の向上 ・ 下水道施設の長寿命化対策と維持管理の効率化 ・ 地方公営企業法適用化の検討 ● 農村下水道を公共下水道への切替検討 ● 下水道全体計画区域と計画区域の狭間に対する合併処理浄化槽補助
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	課題 解決策 ア) 財源 イ) 資本費の増 使用料金の見直し、平準化債の活用、繰出基準による財源手当

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>市民の生活活動において、下水道整備が時期的に及ばない地域に対する助成制度であり、市民全体の不公平感の解消と公共用水域の水質を保持するうえでも有効な事業である。 しかし、浄化槽の助成を受けて整備している地域は、将来的には小矢部川流域下水道の新たな幹線整備が促進されたなら、公共下水道へ切り替えられることとなる。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 建築住宅係 内線 245

P l a n (計 画)	主要施策名	快適な居住環境の整備						
	施策区分	住宅の充実						
	施策目標	建築確認申請等の迅速かつ正確な受付等を行う。						
	施策名	住宅水準の向上						
	施策の目的	県より確認申請の受付窓口を地域の状況に精通した市町村に依頼されているため、建築確認申請等の迅速かつ正確な受付対応の向上に努める。						
	H24最終予算額	85	千円	H24決算見込額	61	千円	H25当初予算額	85

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	建築確認指導事務事業					
	予算科目	8.5.1.3					
	実施状況	H24年度:建築確認申請の進達合計件数340件(市受付182件、民間受付158件) 【H23年度:建築確認申請の進達合計件数324件(市受付195件、民間受付129件)】					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	建築確認指導事務事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点:市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点:今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点:できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点:実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点:実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点:実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点:実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点:安い経費で実施した。 2点:ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点:経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価:12点~11点、B評価:10点~9点、C評価:8点以下		
			A				
	評価の理由等	建築確認等の申請、届出の受付事務及び確認済証の受領等の交付関係事務のため、継続が必要である。					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	建築確認申請の迅速かつ正確な受付、進達及び関係課への情報提供を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	建築確認申請の迅速かつ正確な受付、進達及び関係課への情報提供を行う。
	中長期的 (3~5年)	建築確認申請受付台帳(データ)を分析し、民間の共同住宅などの建設動向等を把握のうえ、市の建築住宅行政(市営住宅の供給等)の方向性に反映させる。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	一般住宅や共同住宅の建築動向等を把握する必要があるため、関係建築業界との意見交換・情報収集が必要となる。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>建築確認及び指導は、県の事務であるが、市町村は地域の状況に精通しているため、今後も、継続して実施し、市民サービスの向上に努める。</p>		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由			
前年度評価	維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの		
今年度評価	①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの		
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 建築住宅係 内線 245

Plan (計画)	主要施策名	快適な居住環境の整備						
	施策区分	住宅の充実						
	施策目標	公営住宅316戸、特定公共賃貸住宅72戸、賃貸住宅2戸の適切な維持管理を行う。						
	施策名	市営住宅の改修・整備						
	施策の目的	市営住宅入居者への安全・安心な生活空間を提供する。						
	H24最終予算額	28,801	千円	H24決算見込額	27,230	千円	H25当初予算額	28,129

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	市営住宅管理事業①（経常的経費）					
	予算科目	8.5.1.2					
	実施状況	住宅修繕費(明渡修繕25件ほか)13,410千円 住宅維持管理委託費等7,259千円、グリーンハイツ示野土地賃借料1,909千円 東鷹栖団地・グリーンハイツ示野外部物置等塗裝修繕工事2,468千円、矢木団地屋根塗装工事2,184千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	市営住宅管理事業①（経常的経費）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	市営住宅は、住宅を所有していない人のセーフティーネットとしての役割が大きくなっているため、引き続き、市営住宅入居者への安全・安心な生活空間の提供が必要となる。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 住宅使用料の滞納については、その解消に努めること。
	前年度二次評価に対する改善策	これまでも滞納者へは、毎月の督促状、催告書の通知、電話催告及び臨戸訪問を実施し、滞納額が大きくなるよう初期段階からの滞納対策を進めてきた。 また、督促しても滞納が続く方に対しては、毎月の直接訪問による催告及び無理のない分割納付方法の相談や滞納者の負担にも配慮した分納誓約を随時実施している。 一方、納付の意思が見られない悪質滞納者については、引き続き、連帯保証人からの徴収を含め、粘り強く納付を促しているところであり、今後とも、滞納額の縮減と早期収納に努める。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	上記の改善策を実施しているが、一部の入居者（特公賃）の滞納額が増額した結果、滞納額全体としてはあまり改善されていないため、これまで以上に夜間や休日に臨戸訪問のうえ、滞納改善に努めていくもの。
	今年度（H25）	○「砺波市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、既存市営住宅の年次的・効率的な改修に努める。 ○「市営住宅修繕履歴台帳」について、市営住宅の経常修繕状況等を効率的に管理するため、新住宅管理システムを活用し、データベース化を実施する。

Action (改善)	来年度 (H26)	○「砺波市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、既存市営住宅の年次的・効率的な改修に努める。 ○「砺波市公営住宅等長寿命化計画」の平成27年度からの後期計画期間における実施予定事業の見直し等を検討する。
	中長期的 (3~5年)	○「砺波市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、着実な改修工事を実施する。 ○平成27年度までの計画である「砺波市地域住宅計画」について、その後の新規計画（住生活基本計画又は住宅マスタープラン）の策定を検討する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>住宅使用料の滞納については、改善策を講じて対応しているが、滞納者数及び滞納額の減少に至っていない。その原因となっている滞納額の多い入居者対策を強化する必要がある。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの	
今年度評価	改善	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価 の理由	昨年に引き続き、住宅使用料の滞納の解消に努めること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	滞納者へは、督促状や催告書の通知、電話催告及び臨戸訪問を実施のうえ、滞納額が増加しないように取り組んでいる。 また、滞納額の多い入居者については、分納誓約による早期納付を促すとともに、連帯保証人からの徴収を含め、今後とも、滞納額の縮減と早期収納に努める。
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 建築住宅係 内線 245

P l a n (計 画)	主要施策名	快適な居住環境の整備						
	施策区分	住宅の充実						
	施策目標	○砺波市住まいづくり計画（第2期砺波地域住宅計画）を踏まえ、地域の実情に応じた市営住宅の供給や居住環境の整備を図るため、社会資本整備総合交付金(地域住宅支援)事業を推進 ○木造住宅の耐震化率の向上						
	施策名	市営住宅の改修・整備						
	施策の目的	○「砺波市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化している市営住宅について、計画的な改修を行う。 ○高齢者に配慮した良質な賃貸住宅を供給するとともに、当該家賃の補助を実施し、高齢者の生活を支援する。 ○耐震改修の補助を実施することにより、木造住宅耐震改修の促進を図る。						
	H24最終予算額	44,700	千円	H24決算見込額	35,042	千円	H25当初予算額	34,500

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	地域住宅支援事業					
	予算科目	8.5.2.1					
	実施状況	市営住宅三谷団地屋上防水改善工事 17,094千円 地域優良賃貸住宅(高齢者型)家賃減額補助金 15,489千円(72件(世帯)) 木造住宅耐震改修支援事業費補助金 600千円(1件) 市営住宅東矢木団地耐震診断業務委託 1,859千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	地域住宅支援事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	○市営住宅三谷団地の屋上防水改善工事を行うことにより、安全で快適な生活を確保し、施設の耐久性の向上を図った。 ○高齢者に配慮した良質な賃貸住宅の家賃補助を実施し、高齢者の生活を支援した。 ○木造住宅の耐震化率を向上させるため、県と連携し、普及啓発を行った。(補助申請1件)						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	○「砺波市公営住宅等長寿命化計画」及び「砺波市住まいづくり計画」に基づき、既存市営住宅の年次的・効率的な改修に努める。(東鷹栖団地1号棟及び2号棟給水方式改善工事(設計委託含む。)) ○高齢者に配慮した良質な賃貸住宅の家賃補助を実施し、高齢者の生活を支援する。 ○木造住宅耐震化率を向上させるため、県と連携のうえ、広報、出前講座等による啓発を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	○「砺波市公営住宅等長寿命化計画」及び「砺波市住まいづくり計画」に基づき、既存市営住宅の年次的・効率的な改修に努める。(予定：金屋団地給水方式改善事業) ○高齢者に配慮した良質な賃貸住宅の家賃補助を実施し、高齢者の生活を支援する。 ○木造住宅耐震化率を向上させるため、県と連携のうえ、広報、出前講座等による啓発を行う。
	中長期的 (3~5年)	○「砺波市公営住宅等長寿命化計画」及び「砺波市住まいづくり計画」に基づき、着実な改修工事を実施する。 ○県の耐震改修促進計画の見直しにあわせて、「砺波市耐震改修促進計画」の見直し(延長含む。)を検討する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	○市営住宅東矢木団地の老朽化に伴う建替等の方針については、将来的な人口減や継続可能な維持管理施設のあり方などを総合的に考慮すると、耐震診断の結果を入居者へ説明のうえ、今後、既存市営住宅の空室への住み替えを斡旋していく方向で、入居者に粘り強く促す必要がある。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/> 効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらいわしい難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 市公営住宅等長寿命化計画に基づき、工事を計画どおり実施した。 また、県と連携し、耐震診断等の補助事業の普及啓発を行い、木造住宅の耐震化率向上に努めた。

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

総務課

危機管理係 内線 211

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	地域の防災力の向上						
	施策名	自主防災組織の体制確立と活動支援						
	施策の目的	自主防災組織活動育成助成 行政の災害対応力の向上						
	H24最終予算額	3,856	千円	H24決算見込額	6,892	千円	H25当初予算額	4,335

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	防災対策事業					
	予算科目	2.1.15.1					
	実施状況	防災対策事業費1,019千円（防災会議184千円、備蓄品668千円、防災協定締結等167千円、）、防災関連事業858千円（高度情報ネットワーク維持管理費858千円）被災地復興支援事業499千円、防災訓練等事業費434千円、自主防災育成事業費4,082千円（宝くじ1地区2,000千円、活動補助金延べ29地区290千円、資機材整備補助金9地区1,357千円、防災士育成435千円）					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	防災対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
	各自主防災組織への活動助成として、防災出前講座への講師派遣、防災訓練への助成、資機材整備の助成を行うとともに、平成24年度から6カ年で計66名の防災士を養成することとし、平成24年度は11名の防災士の資格取得補助を行い、地域の防災力の向上を図った。行政の災害対応力の向上を図るため、計画的な備蓄を行うとともに、市総合防災訓練を実施し防災関係機関との連携強化を図った。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	

Action (改善)	来年度 (H26)	
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>東日本大震災を教訓に、住民の自助意識の向上及び地域防災力の強化が必要であり、自主防災組織の育成強化を図るため、啓発及び育成支援を進めなければならない。また、市役所は防災対策本部となることから、その機能が十分発揮できるよう施設整備、備蓄物品の整備を計画的に進める。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

総務課

危機管理係 内線 211

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	災害発生時に、市民に対し情報の提供を行う						
	施策名	地域防災対策の充実						
	施策の目的	災害時市民への災害情報の提供、行政の通信手段の確保 災害時孤立の可能性がある地域に衛星携帯電話を貸与し、通信を確保						
	H24最終予算額	2,173	千円	H24決算見込額	2,671	千円	H25当初予算額	6,210

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	防災無線整備事業費	
	予算科目	2.1.15.1	
	実施状況	旧砺波市（移動系）483千円、旧庄川町（同報系、移動系）1,479千円、無線機修繕420千円、電波利用料41千円、衛星携帯電話電話料248千円	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	防災無線整備事業費			
	必要性・妥当性	2	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	1	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	8	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	C			防災行政無線は、旧砺波市と旧庄川町との設備の連動性がなく、老朽化が著しい。また、アナログ式の無線であることから、他の情報ネットワークとの連携ができない。特に同報系無線の必要性については、庄川地域だけの設置となっており、今後情報伝達手段としていかに整備するか検討が必要である。また、維持管理に要する費用が多額である。

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 防災無線整備事業については、多額の経費が必要であり、また、整備手法にも長短があることから、無線の方式、同報系（屋外拡声器）の整備範囲や移動系（携帯、車載無線等）の台数を精査し、総合計画に基づき導入を図ること。
	前年度二次評価に対する改善策	防災無線整備事業については、合併特例債（起債充当率95%、交付税70%）を活用して整備を行う計画としている。合併特例債の期限は、合併特例債延長法により平成31年度まで延長されているが、早期に整備を行うこととして総合計画に計上したい。なお、今年度において地域防災計画を整備しているところであり、当該計画を踏まえて防災無線整備の計画を行うことが適切であると考えている。 また、整備にあたっては、整備の方針を決定するための参考とするために、職員の実務レベル会議を開催することや各自主防災会から整備に関する意見などを聴取するなどして、最終判断を行いたい。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	防災行政無線の整備について総合計画実施計画に計上するとともに、防災行政無線の整備方針を決定するための参考とするため、職員の実務レベル会議（検討委員会）を開催し、無線の方式及び整備方法について検討を行った。
	今年度（H25）	検討委員会の結果を踏まえ、防災行政無線の早期整備に向け実施設計を行うとともに、災害発生時等における有効な運用方法について検討を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	移動系無線を早期に整備し、災害時における有効な住民への情報伝達手段等について検討を行い、効率的な運用を行う。
	中長期的 (3~5年)	同報系無線の整備や登録メール、FMとなみの活用など、災害時における住民への情報伝達手段について、イニシャルコスト及びランニングコスト等を考慮し引き続き検討を行う。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	同報系無線の整備については、建設コストが多岐であるが、風雨の際や屋内にいる場合等聞こえにくく、災害時の情報伝達手段としては不向きである。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわじしいが必要性がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 現在の防災行政無線については、旧砺波市と旧庄川町との連動性が無く、また、老朽化も著しい。平成24年度に整備方針について、検討を進めてきたところであり、平成25年度において整備を進める。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	改善		
今年度評価 の理由	防災行政無線は、旧市町との連動性もなく、また、老朽化も著しいことから、十分な検証を行ったうえで、できるだけ早期に再整備を図ること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	検討委員会の結果を踏まえ、平成25年度において移動系防災行政無線について整備を進める。
---------------------	---

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	市内全域における地域防災体制の強化を図るとともに身近な防災活動を通して防災意識の啓発を図る。						
	施策名	地域防災対策の充実						
	施策の目的	最新の通信媒体等を利用し防災情報の提供を行い、災害時に迅速な対応ができる体制整備を図るとともに、河川の維持管理に努めるもの。						
	H24最終予算額	4,000	千円	H24決算見込額	3,468	千円	H25当初予算額	4,397

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	河川管理事業					
	予算科目	8.3.1.1					
	実施状況	桜つつみや準用河川堤防等の植栽管理を行い、河川の維持管理に努めた。水害予防組合等の関係団体と連携し、河川整備等について関係機関へ要望を行った。準用河川指定の指定について、関係機関と協議を進め、全区間の廃止を行った。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	河川管理事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	<ul style="list-style-type: none"> 河川堤防等草刈を実施し、河川環境の維持向上を図った。 準用河川指定の廃止に伴う、関係機関と協議を進め、全区間の廃止を行った。 						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 準用河川については、引き続き、移管手続きの協議を行うこと。
	前年度二次評価に対する改善策	準用河川については、引き続き、管理移管協議を進める。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	管理移管が終了した。
	今年度(H25)	河川環境や景観を維持し、今後の事業の整理に努める。

Action (改善)	来年度 (H26)	
	中長期的 (3~5年)	河川環境や景観を維持し、今後も経費縮減に努める。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 河川管理者（国交省）と協議して実施しているもの。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 国営事業班 内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	排水施設の機能低下を回復する排水対策を実施し、溢水や浸水被害を防止する。						
	施策名	地域排水対策の推進						
	施策の目的	排水機能を兼ねる農業用水路の断面拡幅や、一時的なピーク排水量を貯留する調整池の設置等により効率的な排水対策を実施し、庄川左岸中下流域の農地及び宅地等への被害の防止を図る。						
	H24最終予算額	161,634	千円	H24決算見込額	73,316	千円	H25当初予算額	99,716

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	国営附帯農地防災事業					
	予算科目	6.3.4.1					
	実施状況	負担金：「一期地区 81,540千円」「二期地区 52,970千円」					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	国営附帯農地防災事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	順調に進捗している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	維持管理に関しての組織の設立に努める。

Action (改善)	来年度 (H26)	維持管理に関して、市としての管理体制を検討する。
	中長期的 (3~5年)	国及び県等と協議調整を行い事業促進を図る 市等の他事業との調整も行い効率的かつ経済的な事業執行となるよう努める。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	本事業は広範囲な規模のため市の財政負担が大きいことから、地元調整等にあたっては事業費が増高しないよう留意する。また、放水路や排水路及び調整池等の防災施設の維持管理費については関係市の負担となることから、建設費だけでなく維持管理費も含めたライフサイクルコストが安価となるよう関係機関と調整し構造等を決定するよう協議する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・市街地や、農地の浸水被害防止に最重要事業である。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	市内全域における地域防災体制の強化を図るとともに身近な防災活動を通して防災意識の啓発を図る。						
	施策名	地域排水対策の推進						
	施策の目的	国営総合農地防災事業をはじめ用排水路の整備や調整池を活用し、総合的な排水計画を実施して行くとともに土砂災害ハザードマップを作成し、危険箇所並びに避難経路や場所について、地域住民に周知する。						
	H24最終予算額	10,518	千円	H24決算見込額	8,677	千円	H25当初予算額	9,505

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	溢水対策事業					
	予算科目	8.3.1.2					
	実施状況	水防・雪氷対策支援気象情報提供使用料 (1,680千円) 出町市街地用悪水路維持補修交付金 (1,000千円) 東山見3用水委員会交付金 (1,000千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	溢水対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	出町自治振興会や関係機関と連携し、選任された地元水門操作員とともに出町市街地の溢水対策にあたる。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	土砂堆積箇所の清掃を行い、災害に強いまちづくりを推進する。

Action (改善)	来年度 (H26)	災害（水害）に強いまちづくりを推進しつつ、経費縮減に努める。
	中長期的 (3～5年)	
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 市街地の水害予防のため必要。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 上下水道課 下水道建設係内線 174

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	都市下水路の適正な維持管理により、内水による被害防止を図る。						
	施策名	地域排水対策の推進						
	施策の目的	雨水幹線の補修						
	H24最終予算額	1,900	千円	H24決算見込額	1,577	千円	H25当初予算額	500

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	雨水幹線維持管理事業					
	予算科目	8.4.5.1					
	実施状況	業務委託では、出町市街地中心部を主に浸水対策を行う上での基本方針をとりまとめた。抜本的な対策としては、市街地内に貯留施設が必要となる。 また、都市下水路として整備した水路の維持管理として中神雨水幹線に伴う陥没補修を行った。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	雨水幹線維持管理事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
	評価の理由等	抜本的な浸水対策をする場合、市街地内に貯留施設が必要となる。また、安全で安心して暮らせる街づくりに必要不可欠な維持管理を行っているが、今後下水として維持管理していくべきものか検討が必要。					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の維持管理 ・今後の雨水対策のスケジュール見直し

Action (改善)	来年度 (H26)	●雨水全体計画の見直し
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	課題 ない。 解決策 下流域への流出量の調整が困難なことから、現状の雨水幹線計画との整合が取れていない。 下流域へ流す前段での調整池等の設置により流出量を調整する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 現状では、安全で安心して暮らせる街づくりに必要不可欠な維持管理を行っている。今後、雨水排水計画の策定のもと、計画の修正を要する。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業	
前年度評価	維持	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	維持	
今年度評価 の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	急傾斜地崩壊危険区域において、小規模急傾斜地崩壊対策事業による法面对策工事を実施し、住民生活の安全を図るもの。						
	施策名	治山治水対策の充実						
	施策の目的	急傾斜地崩壊危険箇所区域内に住む住民の生命と財産を土砂災害から守るもの。						
	H24最終予算額	10,000	千円	H24決算見込額	9,728	千円	H25当初予算額	10,000

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	急傾斜地崩壊対策事業	
	予算科目	8.1.2.1	
	実施状況	法面对策工事を施工	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	急傾斜地崩壊対策事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A			急傾斜地崩壊危険箇所の対策について、経済性と地形条件に合致した工法が選定されたことによるもの。

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	法面对策工事を施工

Action (改善)	来年度 (H26)	法面对策工事を施工
	中長期的 (3~5年)	H28年の完成に向け事業を推進する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 市民の生命と財産を守るために必要。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	災害防除対策工事を行い、道路交通の安全を確保するもの。						
	施策名	治山治水対策の充実						
	施策の目的	災害発生が予想される市道において災害防除施設整備を行い道路交通の安全を確保するもの。						
	H24最終予算額	13,000	千円	H24決算見込額	7,928	千円	H25当初予算額	0

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	災害防除施設整備事業					
	予算科目	8.2.2.3					
	実施状況	やまぶき荘合口ダム線において落石防護柵を設置。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	災害防除施設整備事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	災害防除施設の設置により、道路交通の安全性が確保された。							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	H24で事業完了のため、取り組み無し。

Action (改善)	来年度 (H26)	
	中長期的 (3~5年)	災害防除対策が将来必要な箇所を選定し、道路の状況を把握するもの。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 市道における対策が必要な箇所について計画的に実施。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	現年度に発生した土木施設災害復旧事業を迅速に行うもの。						
	施策名	治山治水対策の充実						
	施策の目的	土木施設災害発生時における迅速な復旧対応を行うもの。						
	H24最終予算額	5,368	千円	H24決算見込額	1,339	千円	H25当初予算額	600

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	道路災害復旧事業					
	予算科目	11.2.2.1					
	実施状況	道路災害2件の復旧を行ったもの。 (繰越1件、現年災3件の内1件 復旧済)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	道路災害復旧事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	迅速な復旧対応が行われたことによるもの。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	災害発生時に迅速に対応するもの。 また、災害を未然に防ぐために道路施設の維持管理を十分に行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	災害発生時に迅速に対応するもの。 また、災害を未然に防ぐために道路施設の維持管理を十分に行う。
	中長期的 (3~5年)	災害発生時に迅速に対応するもの。 また、災害を未然に防ぐために道路施設の維持管理を十分に行う。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	災害が同時期に連続して発生した場合に、土木課職員のみで対応ができないことが考えられる。 部署を超えた協力体制の構築の検討。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 公共土木施設災害に対応するもの。 国の査定により実施。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価		
今年度評価 の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 413

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	農地・農業用施設の日常的な維持管理を継承することで、被災を未然に防止するとともに、異常降雨等により被災した場合は、被害拡大を防止し、農地・農業用施設等の迅速な原状復旧を行うもの。						
	施策名	治山治水対策の充実						
	施策の目的	農地・農業用施設の日常的な維持管理を継承することで、被災を未然に防止するとともに、異常降雨等により被災した場合は、被害拡大を防止し、農地・農業用施設等の迅速な原状復旧を行うもの。						
	H24最終予算額	1,916	千円	H24決算見込額	32	千円	H25当初予算額	1,900

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農地農業施設災害復旧事業					
	予算科目	11.1.1.1					
	実施状況	消耗品等 32千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農地農業施設災害復旧事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 A			
	評価の理由等	農地・農業用施設等への被災により、必要によって仮復旧工事の対策を講じ、被害の拡大を防ぐとともに、速やかな復旧工事を施工し原状復旧した。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	被災した農地・農業用施設等の速やかな復旧を図る。また、農地の日常的に継続した維持管理及び施設等の適切な保全に努め、異常気象時の集中豪雨等不測の事態に備える。なお、被災直後には被災状況を速やかに把握し、詳細な情報を収集するとともに、増破の防止等被害の拡大を防ぐ。

Action (改善)	来年度 (H26)	被災した農地・農業用施設等の速やかな復旧を図る。また、農地の日常的に継続した維持管理及び施設等の適切な保全に努め、異常気象時の集中豪雨等不測の事態に備える。なお、被災直後には被災状況を速やかに把握し、詳細な情報を収集するとともに、増破の防止等被害の拡大を防ぐ。
	中長期的 (3~5年)	災害発生を未然に防止するとともに、所有者・施設管理者や関係機関を通じて農地・農業用施設の適切な管理・保全を継続し、推進するもの。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	中山間地域や山間地域での耕作放棄地等の発生を防ぎ、農地や農業用施設の荒廃を防止する必要がある。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・中山間地における災害による生産基盤の復旧は、耕作放棄地の発生防止に重要である。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農地林務課

林政係

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	地域防災基盤の整備						
	施策目標	自然災害に対して迅速な原状復旧を行う。						
	施策名	治山治水対策の充実						
	施策の目的	自然災害に対して迅速な原状復旧を行う。						
	H24最終予算額	300	千円	H24決算見込額	50	千円	H25当初予算額	300

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	林道林業施設災害復旧事業					
	予算科目	11.1.2.1					
	実施状況	災害復旧費50千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	林道林業施設災害復旧事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	迅速な原状復旧を行った。							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	ありません

Action (改善)	来年度 (H26)	ありません
	中長期的 (3~5年)	ありません
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	ありません

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・災害に対応するためには必要な事業である。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

消防署

内線

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	消防・救急体制の充実						
	施策目標	市民の生命、身体、財産を災害から守り、安心・安全なまちづくりを確保するため、消防力の充実を図る。						
	施策名	消防力の充実						
	施策の目的	消防団員の活動に対する費用弁償、各種事業及び訓練を円滑に実施し、消防団の充実強化・活性化対策の推進を図る。						
	H24最終予算額	59,360	千円	H24決算見込額	57,342	千円	H25当初予算額	58,306

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	消防団活動事業	
	予算科目	9.1.2.1	
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員に対する適正な報酬等の支払いができた。 消防団員の若年層の入団（女性団員を含む） 	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	消防団活動事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> 分団長及び女性団員の新旧交代があり、社会のニーズに応じた若い力が発揮されると考える。 消防団員の資格を確保するため、消防団条例を一部改正し、充実強化を図れると考える。 			

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の消防団員の確保と女性団員の採用を積極的に進めていきたい。（条例定数 602人、実員数 574人、平均年齢 39.4歳） 消防団条例を一部改正した事から団員の確保及び充実強化を図りたい。

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の消防団員の確保と女性団員の採用を積極的に進めていきたい。 ・消防団条例を一部改正した事から団員の確保及び充実強化を図りたい。
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団協力事業制度を活用し、消防団員の確保を図る。 ・各地区の消防団員の年齢構成が若年化現象にあり、リーダー的立場(分団長・副分団長)の育成を図る。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化や若年層の地域離れにより、消防団員の減少及び確保困難→魅力のある消防団や若者が定着できる地域づくりの政策 ・自営業の消防団員が減少し、サラリーマン団員の増加→消防団協力事業所制度の活用、機能的消防団員制度の導入の検討

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>砺波市総合防災計画及び消防施設計画に基づき、適正に執行されており、今後においても目標値を定め適正かつ効率的な予算執行を図るように努められたい。 消防団条例を一部改正により、消防団員の低減化に歯止めをかけるため、今後一層の地域コミュニティとの連携の中で充実強化を図る必要がある。</p>		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業	
前年度評価		維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	改善	
今年度評価 の理由	消防団員は定数を満たしていない状況であり、引き続き定員確保に努めること。	

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	消防団員の低減化の背景には、少子化や被雇用者化等の理由もあるが、最も懸念されることは「若者が地域活動から疎遠になってきている状況」等が考えられる。「砺波市の災害対応のリーダーとなる団員の確保」という観点から、各地域でのコミュニティ活動として、各地区自治振興会等の各種団体との各方面隊主催の合同意見交換会の開催や、地元地区消防団が小中学生等へ防災活動の理解を深めるための消防防災教育の推進を図り、5年後、10年後を見据えた人材の育成を行ない、消防団員の確保(定員確保)に努める。
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

消防署

内線

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	消防・救急体制の充実						
	施策目標	市民の生命、身体、財産を災害から守り、安心・安全なまちづくりを確保するため、消防力の充実を図る。						
	施策名	消防力の充実						
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両等の整備及び点検を確立 砺波市総合計画に基づき、ポンプ車・小型動力ポンプ等の更新 						
	H24最終予算額	43,386	千円	H24決算見込額	41,050	千円	H25当初予算額	45,375

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	消防団機械整備・管理事業					
	予算科目	9.1.2.2					
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に、車検整備を実施し、違反車両の是正 毎年、性能検査を実施し、消防団ポンプ車両及び小型ポンプの機能維持・災害対応の充実 					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	消防団機械整備・管理事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な車検整備を実施している 性能検査を実施し、消防団ポンプ車両及び小型ポンプの不備欠陥を無くし、常時、災害対応を図っている 							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> 庄下分団車両の更新 油田・梅檀野分団（市谷）の小型動力ポンプの更新

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油田分団車両の更新・ 東野尻分団の小型動力ポンプ付積載車更新 ・ 東般若分団の小型動力ポンプの更新
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砺波市総合計画を見直し、今後、予想される災害に基づき、ポンプ車・ 小型ポンプ等の更新を図る
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団塊の世代に伴い、消防団員の若年化が進み、活動方針及び機械器具の取扱いの取得がより一層必要不可欠となる→今後、取扱い訓練及び各講習を実施し、習得度を図る

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>砺波市総合防災計画及び消防施設計画に基づき、適正に執行されており、今後においても目標値を定め適正かつ効率的な予算執行を図るように努められたい。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの	
今年度評価		①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの	廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

消防署

内線

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	消防・救急体制の充実						
	施策目標	市民の生命、身体、財産を災害から守り、安心・安全なまちづくりを確保するため、消防力の充実を図る。						
	施策名	消防力の充実						
	施策の目的	・ 消防施設の維持管理及び消火栓・防火水槽等の消防水利施設の維持管理						
	H24最終予算額	15,342	千円	H24決算見込額	14,171	千円	H25当初予算額	8,682

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	消防施設整備事業	
	予算科目	9.1.3.1	
	実施状況	消火栓及び防火水槽の点検を実施し、維持管理を実施する。 ・ 消火栓標識板7箇所交換 ・ 新設消火栓2基設置（太田地区8区地内、柳瀬地区中町地内） ・ 消火栓移設工事3基（中野地区1基、青島地区1基） ・ 消火栓嵩上げ工事7基（庄下地区矢木地内、林地区小島地内、般若地区頼成地内、東般若地区東保地内、梅檀野地区宮新地内、梅檀山地区栃上地内、東山見地区金屋地内）	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	消防施設整備事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			A		
評価の理由等	・ 消火栓及び防火水槽等の消防水利施設の修繕を行い、維持管理を実施する				

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	・ 消火栓及び防火水槽の点検を実施し、維持管理を実施する （砺波市内全域 平成25年4月16日～6月28日点検実施予定）

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> 消火栓及び防火水槽の点検を実施し、維持管理を実施する 新設消火栓2基設置(中野地区新明地内、東般若地区宮森地内) 新規防火水槽1基設置(柳瀬地区柳瀬地内)
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画を見直し、消防整備指針消防水利の基準に基づき、消火栓・防火水槽の設置基準充足率85%を目指す計画を実施する
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> 新興住宅団地の水利確保→開発行為時に、消火栓・防火水槽設置の協議及び指導を図る 上下水道工事に伴い、消火栓の移設工事が急遽必要となる→上下水道課と連絡を密にし、情報の共有化を図り、予算執行の適正化を図る

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>砺波市総合防災計画及び消防施設計画に基づき、適正に執行されており、今後においても目標値を定め適正かつ効率的な予算執行を図るよう努められたい。 特に消防水利の充実は、重点地域を定め、消防水利の指針に基づき、人口動態等を勘案し、地域の実情に応じた柔軟な取組み、計画が必要と思われる。</p>		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業	
前年度評価		維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価		
今年度評価 の理由		

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

消防署

内線

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	消防・救急体制の充実						
	施策目標	市民の生命、身体、財産を災害から守り、安心・安全なまちづくりを確保するため、消防力の充実を図る。						
	施策名	消防力の充実						
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員に対する適正な報酬等の支払いができた。 庄川に隣接する水防団に救命胴衣の更新及び土嚢袋等を配備し充実を図る。 						
	H24最終予算額	870	千円	H24決算見込額	824	千円	H25当初予算額	870

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	水防対策事業					
	予算科目	9.1.4.1					
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員に対する適正な報酬等の支払いを行なう。 消防団安全対策設備費補助金が交付決定され、救命胴衣等を整備を図る。 					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	水防対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
	評価の理由等	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員に対する適正な報酬等の支払いができた。 消防団安全対策設備費補助金が交付決定され、救命胴衣等を整備が図れた。 					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> 水防工法講習を受講し、技能習得を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	・水防工法講習を受講し、技能習得を図る。
	中長期的 (3~5年)	・国、県の補助金を利用し、水防団の資機材の充実を図る。 ・砺波市総合防災訓練等で、水防工法の技能講習会を開催し、水防団の技術の習得練磨。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	・核家族化や若年層の地域離れにより、消防団員の減少及び確保困難→魅力のある消防団や若者が定着できる地域づくりの政策 ・自営業の消防団員が減少し、サラリーマン団員の増加→消防団協力事業所制度の活用、機能的消防団員制度の導入の検討

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>砺波市総合防災計画及び消防施設計画に基づき、適正に執行されており、今後においても目標値を定め適正かつ効率的な予算執行を図るように努められたい。 また、自然災害に対応すべき、消防団員の教育実習の一環として、水防工法等の技能講習の充実が求められる。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業	
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価		
今年度評価 の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 生活交通係 内線 143

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	防犯体制の充実と交通安全の推進						
	施策目標	市民が、安心して安全に暮らせる体制を整備する。						
	施策名	防犯対策の強化と消費者保護						
	施策の目的	市防犯協会、警察、自主防犯団体及び消費団体など関係機関と連携し、自主防犯活動への支援、犯罪の起きにくい環境の構築、防犯知識の普及啓発及び消費者の自立に向けた支援を行うことにより、安全安心なまちづくりを推進する。						
	H24最終予算額	12,400	千円	H24決算見込額	12,304	千円	H25当初予算額	13,201

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	防犯対策事業						
	予算科目	2.1.10.2						
	実施状況	防犯灯電気料 (9,697千円)、防犯協会補助金 (2,476千円)、自主防犯パトロール隊用品 (12千円)						

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	防犯対策事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	防犯灯を普及させるとともに 自主防犯パトロール活動を支援し防犯活動の活性化を図ることにより、平成25年における砺波市内の刑法犯の認知件数が減少した。							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	<ul style="list-style-type: none"> 自主防犯パトロール隊の活動を強化し、市民の防犯意識の高揚を図る。 防犯灯のLED化を推進する。

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯パトロール隊の活動を強化し、市民の防犯意識の高揚を図る。 ・防犯灯のLED化を推進する。
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯パトロール隊の活動を強化し、市民の防犯意識の高揚を図る。 ・防犯灯のLED化を推進する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・警察、防犯協会等の防犯関係団体と連携を強化する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>防犯灯を普及させるとともに 自主防犯パトロール活動を支援し防犯活動の活性化を図ることにより、平成24年における砺波市内の刑法犯の認知件数が減少した。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 生活交通係 内線 144

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	防犯体制の充実と交通安全の推進						
	施策目標	市民が、安心して安全に暮らせる体制を整備する。						
	施策名	防犯対策の強化と消費者保護						
	施策の目的	市防犯協会、警察、自主防犯団体及び消費団体など関係機関と連携し、自主防犯活動への支援、犯罪の起きにくい環境の構築、防犯知識の普及啓発及び消費者の自立に向けた支援を行うことにより、安全安心なまちづくりを推進する。						
	H24最終予算額	530	千円	H24決算見込額	430	千円	H25当初予算額	728

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	消費者支援事業					
	予算科目	2.1.13.1					
	実施状況	消費生活相談受付件数（53件）、消費者グループ5団体、消費生活講座3回					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	消費者支援事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 A			
	評価の理由等	年間53件の相談を受けている他、消費生活講座を実施し消費者被害の未然防止に資する活動を行った。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> 市民の消費者被害の防止への関心を高めるためのPRを行い、相談や消費生活講座の利用促進を図ることにより被害の未然防止に努める。 警察や消費生活センター等関係機関との連携を強化し、消費者の自立に向けた支援に努める。

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の消費者被害の防止への関心を高めるためのPRを行い、相談や消費生活講座の利用促進を図ることにより被害の未然防止に努める。 警察や消費生活センター等関係機関との連携を強化し、消費者の自立に向けた支援に努める。
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の消費者被害の防止への関心を高めるためのPRを行い、相談や消費生活講座の利用促進を図ることにより被害の未然防止に努める。 警察や消費生活センター等関係機関との連携を強化し、消費者の自立に向けた支援に努める。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> 市民に周知する必要がある消費者情報について、効率的に広報・啓発し、被害拡大を防止する体制を整備する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>市民の消費者被害の防止への関心を高めるためのPRを行い、相談や消費生活講座の利用促進を図ることにより被害の未然防止に努めた。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 生活交通係 内線 143

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	防犯体制の充実と交通安全の推進						
	施策目標	市民が、安心して安全に暮らせる体制を整備する。						
	施策名	交通事故防止への安全教育の推進						
	施策の目的	交通安全関係機関と連携し、街頭活動や各種キャンペーンを展開することにより、市民の交通安全に関する意識の向上を図り、悲惨な交通事故をなくし安全安心なまちづくりを推進する。						
	H24最終予算額	3,219	千円	H24決算見込額	2,810	千円	H25当初予算額	3,194

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	交通安全対策事業					
	予算科目	2.1.11.2					
	実施状況	交通指導員、アドバイザー報償品等(634千円)、交通安全活動用消耗品(384千円)、チャイルドシート購入費補助金等(824千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	交通安全対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	交通安全関係団体の活動は、砺波市においては活発であり、また、死亡事故件数についても前年から大幅に減少している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	今後の死亡事故発生ゼロを目指し、交通安全関係団体と連携して、街頭キャンペーンや街頭活動を通して交通安全意識の普及啓発活動を積極的に行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	交通安全関係団体と連携して、交通安全関連の街頭活動、普及啓発活動を積極的に行う。
	中長期的 (3~5年)	国の方針では、平成20年から10年間で交通事故死者を半減させる方針を打ち出しており、更なる交通安全対策を行う。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	交通安全関係団体と連携して、交通安全関連の街頭活動、普及啓発活動を積極的に行う。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>交通安全関係団体の活動は、砺波市においては活発であり、また、死亡事故件数についても前年から大幅に減少している。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生活環境課 生活交通係 内線 143

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	防犯体制の充実と交通安全の推進						
	施策目標	市民が、安心して安全に暮らせる体制を整備する。						
	施策名	交通事故防止への安全教育の推進						
	施策の目的	交通弱者である子どもや高齢者に対する交通安全教室を重点的に開催するなど、交通安全に関する知識の普及啓発に努め、悲惨な交通事故をなくし安全安心なまちづくりを推進する。						
	H24最終予算額	2,400	千円	H24決算見込額	2,317	千円	H25当初予算額	2,400

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	交通安全教室事業					
	予算科目	2.1.11.3					
	実施状況	交通安全教育指導員報酬(2,088千円)、新入学児童へのランドセルカバー等消耗品(110千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	交通安全教室事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	交通安全教室を年間約50回以上実施し、交通安全思想の普及を行った。							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	高齢運転者による交通事故が増加傾向にあるため、従来からの高齢歩行者を対象にした交通安全教育や運転技能の低下防止と交通法令等の再確認を目的とした高齢運転者教育を強化する。

Action (改善)	来年度 (H26)	高齢運転者による交通事故が増加傾向にあるため、従来からの高齢歩行者を対象にした交通安全教育や運転技能の低下防止と交通法令等の再確認を目的とした高齢運転者教育を強化する。
	中長期的 (3~5年)	国の方針では、平成20年から10年間で交通事故死者を半減させる方針を打ち出しており、交通安全対策を強化する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	交通安全教室の継続的な参加を図るため、積極的に広報活動を推進し、欠席者については高齢者ふれあい訪問などの活動を推進する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 年間50回を超える交通安全教室等の成果もあり、死亡事故件数が前年から大幅に減少している。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

Plan (計画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	除雪対策の推進						
	施策目標	消雪施設の配管リフレッシュ工事や、新設整備工事を実施し、安全で安心なまちづくりを行うもの。						
	施策名	市民と協働の除排雪の推進						
	施策の目的	冬期間の道路交通を確保するため、消雪施設等の更新整備及び除雪対策を行うもの。						
	H24最終予算額	97,786	千円	H24決算見込額	47,124	千円	H25当初予算額	47,000

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	雪寒地域道路防雪事業					
	予算科目	8.2.5.1					
	実施状況	消雪管リフレッシュ工事 1件 消雪管新設工事 2件 消雪施設水源整備工事 1件 消雪施設操作盤等改修工事 1件					

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	雪寒地域道路防雪事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	計画的に消雪施設の更新、新設が実施されたもの。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	消雪管リフレッシュ工事 3件 消雪管新設工事 1件

Action (改善)	来年度 (H26)	消雪管リフレッシュ工事 4件 消雪管新設工事 2件
	中長期的 (3~5年)	消雪管リフレッシュ工事と新設工事についてバランスよく実施する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	消雪施設の老朽化に伴う計画的な更新整備が必要。 消雪施設の稼働状況、劣化状況を勘案しながら更新整備計画を修正する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 計画的な更新（リフレッシュ）整備を主体に事業を実施していく。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	除雪対策の推進						
	施策目標	冬期間の道路交通の確保を図る。						
	施策名	市民と協働の除排雪の推進						
	施策の目的	冬期間の道路交通の確保と地域ぐるみ除排雪の推進を図るもの。						
	H24最終予算額	265,016	千円	H24決算見込額	116,750	千円	H25当初予算額	197,328

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	除雪対策事業①（除雪委託、消雪施設管理等）					
	予算科目	8.2.5.2					
	実施状況	除雪作業の委託により、車道、歩道の除雪を実施。 また、除雪機械の車検整備及び消雪施設の点検の実施。					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	除雪対策事業①（除雪委託、消雪施設管理等）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	市民の冬期間の道路交通を確保できたもの。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	新たな地区除雪委員会の設立に向け、未組織地区と協議検討を行う。（未組織5地区）

Action (改善)	来年度 (H26)	雪みち計画の見直しにより歩道除雪のネットワークを図る。 新たな地区除雪委員会の設立。
	中長期的 (3~5年)	新たな地区除雪委員会の設立。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	経年劣化した消雪施設、除雪機械の修繕費がかさむ。 定期点検を十分に実施し、修繕費を抑える。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>冬期間の市民生活に必要な不可欠、地域ぐるみ除雪地区の拡大及び、より細かい地域区分による出勤による経費節減が検討課題。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

土木課

道水路管理係 内線 231

P l a n (計 画)	主要施策名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進						
	施策区分	除雪対策の推進						
	施策目標	冬期間の道路交通の確保を図る。						
	施策名	市民と協働の除排雪の推進						
	施策の目的	冬期間の道路交通の確保と地域ぐるみ除排雪の推進を図るもの。						
	H24最終予算額	10,858	千円	H24決算見込額	30,834	千円	H25当初予算額	20,280

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	除雪対策事業② (除雪機械増強・更新) (地区除排雪機械整備補助)					
	予算科目	8.2.5.2					
	実施状況	除雪ドーザ 2台購入 ハンドガイド除雪機 2台購入					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	除雪対策事業② (除雪機械増強・更新) (地区除排雪機械整備補助)					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	除雪機械の年次購入計画により、順次更新されている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由						
	前年度二次評価に対する改善策						
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況						
	今年度(H25)	除雪ドーザ 1台購入 スノーブロワ 1台購入 ロータリー除雪車 1台購入					

Action (改善)	来年度 (H26)	除雪ドーザ 1台購入 ハンドガイド除雪機 1台購入
	中長期的 (3~5年)	除雪ドーザ及びハンドガイド除雪機を1~2台、年次購入計画に基づき購入する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	市所有除雪車も老朽化している。 ハンドガイド除雪機について、地区貸与機械と市所有機械の老朽化具合を考慮し購入計画を修正する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 ハンドガイド除雪機を含めて年次計画の見直しが必要。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--